

PREMIUM COMPACT AUDIO GUIDE

2016 AUTUMN

最新Bluetoothスピーカー&
ハイコンポの情報が満載

[プレミアムコンパクトオーディオガイド]

特別編集フリーマガジン

¥0 TAKE FREE!

vol.11

好評!

家のどこでも音楽を!

インテリア×
スピーカー特集

ワイヤレスで
定額音楽配信

PCと組み合わせる
システム提案

Bluetooth®

スピーカーお買い物ガイド

ワイヤレス&ハイレゾ



Present

ハイレゾ対応ワイヤレススピーカーも当たる

プレゼント & アンケート

応募締め切り

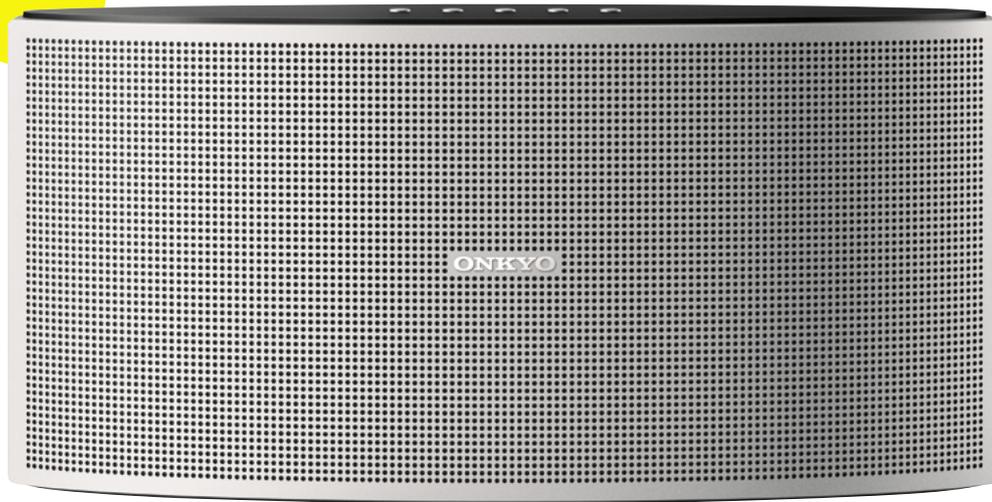
2017年

1月31日まで

※ハガキでの応募は締め切り当日の
消印まで有効とさせていただきます。

今号もアンケートにご回答いただいた方の中から抽選で、ハイレゾ対応のワイヤレススピーカーなどが当たるプレゼント企画を実施しています。応募方法は添付のハガキとWEBのいずれかで受付しています。ドシドシご応募ください!

A賞



ハイレゾ対応Bluetoothスピーカー

Onkyo X9

【1名様】

提供: オンキヨー&パイオニアイノベーションズ株式会社

合計8基のスピーカーを搭載して、57~40,000Hzまでの再生を可能にしたオンキヨーのBluetoothスピーカー。背面に搭載されるmicro USB入力でハイレゾ音源の再生もできる本機を1名様に!

▶ 製品の詳細はP32へ!

B賞



ハイレゾ対応ワイヤレススピーカー

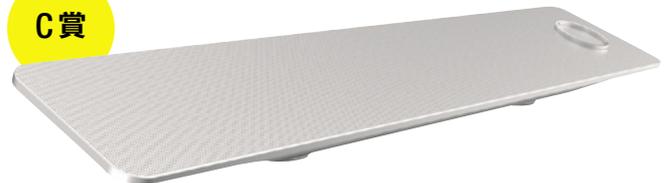
IRIVER LS150

 【1名様】 提供: 株式会社アユート

Wi-Fiを使ってネットワーク上にあるハイレゾ音源を再生できるコンパクトなワイヤレススピーカー。「IRIVER Live Stream」というスマホアプリを使えば、インターネットラジオも楽しめる。本機を1名様に!

▶ 製品の詳細はP16へ!

C賞



Bluetoothスピーカー

SOUND FIDELITY Sound Fidelity 590i

【1名様】

提供: 株式会社WiseTech

アルミ合金を削り出した優美なフロントパネルが印象的なBluetoothスピーカーを1名様に。フィンランドのデザイナーがデザインした洗練されたルックスはiMacと相性抜群! カラーはシルバー。

▶ 製品の詳細はP42へ!

アンケート項目

Q1 本誌をどの売り場で入手しましたか？

- A Bluetoothスピーカー B ハイコンボ C Hi-Fiオーディオ
D ヘッドホン E エレベーター脇 F その他 G Phile-web

Q2 コンパクトオーディオを購入する際の 大まかな予算を教えてください。

- A 10,000円未満 B 10,000円以上20,000円未満
C 20,000円以上30,000円未満
D 30,000円以上50,000円未満
E 50,000円以上100,000円未満 F 100,000円以上

Q3 コンパクトオーディオを購入する際、 重視する順番は？ 3位まで順番にお答えください。

- A 音質(重低音の再生) B 音質(バランスのよい再生)
C ハイレゾ対応 D デザイン E 価格 F サイズ感 G 色
H ワイヤレス接続の有無 I 内蔵バッテリーの有無
J 防塵防水機能 K マルチルーム再生機能
L GoogleCast対応 M その他

Q4 コンパクトオーディオを使って再生する、 再生したい機器を教えてください。(3つまで)

- A iPhone B Androidスマートフォン C ウォークマン®
D iPod E ポータブルハイレゾプレーヤー F テレビ
G タブレット H PC I ゲーム機 J その他

Q5 現在所有している機器と、 これからほしい機器を教えてください。(3つまで)

- A Bluetoothスピーカー(1BOXタイプ)
B Bluetoothスピーカー(2chタイプ)
C システムステレオ(非ハイレゾ対応)
D システムステレオ(ハイレゾ対応) E サウンドバー
F USB DAC G アクティブスピーカー H Hi-Fiスピーカー
I プリメインアンプ J ヘッドホン/イヤホン
K ポータブルハイレゾプレーヤー L その他

Q6 興味が湧いたオーディオ製品はありますか？ 本誌掲載の投票No.(1~126)でご回答ください (5つまで)

Q7 Bluetoothスピーカーに期待する機能を 教えてください。(自由記入)

Q8 本誌へのご意見、ご要望をご自由にご記入ください。

アンケートのご記入、誠にありがとうございました。

本アンケートは「プレミアムコンパクトオーディオガイド」誌発行の株式会社音元出版(以下、当社)が運営しております。回答情報の取り扱いについて同意の上、アンケートにご回答ください。ご回答いただいた情報は、商品/サービス等(当社のものに限定しない)に関する調査、当社からの案内の送付等(他社のカatalogおよびサンプル等を含む)のため、当社において利用する場合があります。また、特定個人を判別できない方法により、第三者に対し開示する場合があります。本アンケートのプレゼントの当選発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。あらかじめご了承ください。

応募方法

ハガキ

綴じ込みの専用ハガキに、上記アンケートに対するご回答をご記入の上、ポストに投函するなど、郵送にてご応募ください。

※郵送には52円分の切手が必要となります。

WEB

記載のQRコード、もしくは下記のURLから専用のアンケートページにアクセスいただき、順番に従ってアンケートにご回答ください。

<http://www.phileweb.com/enquete/pca11/>



D賞



ノベルティグッズ

AUREX オリジナルタオル

[2名様]

提供:東芝エリートレーディング株式会社

東芝のオーディオブランド「AUREX」。ラジカセ然としたデザインで、どこでも簡単に使えるハイレゾCDラジオ「TY-AH1000」の発売を記念してつくられた非売品タオルを青と黒の各色1名様にプレゼント。

▶製品の詳細はP39へ!

E賞



ノベルティグッズ

Bang & Olufsen オリジナルノート

[3名様]

提供:完実電気株式会社

「Bang & Olufsen」のカジュアルラインのB&O PLAYから、「BeoPlay A1」をはじめ多彩なBluetoothスピーカーが発売中だが、今回は持っているだけで自慢できるオリジナルノートを3名様に届け!

▶製品の詳細はP8へ!

F賞



雑誌

音元出版 プレミアムヘッドホン ガイドマガジン Vol.7

[3名様]

10月24日に全国書店にて発売開始するヘッドホン雑誌の決定版「プレミアムヘッドホンガイドマガジン」。本誌の最新号(¥1,500/税込)を3名様にプレゼント。当選まで待てない方は、ぜひ雑誌コーナーへ!

音楽との出会いを感動的にする新スタイル

ソニーの「ワイヤ

あ、この曲好き—。

そんな音楽との出会いをゾクゾクした体験に変える新しいスタイル。

それがソニーの「ワイヤレス」×「ハイレゾ」だ。

スマホからワイヤレスで手軽に操作しつつ、

音楽の真価を圧縮しないハイレゾ相当の高音質で再生できる。

感動体験を約束するワイヤレススピーカーを紹介しよう。

取材・文／折原一也、鴻池賢三 写真／広井一成



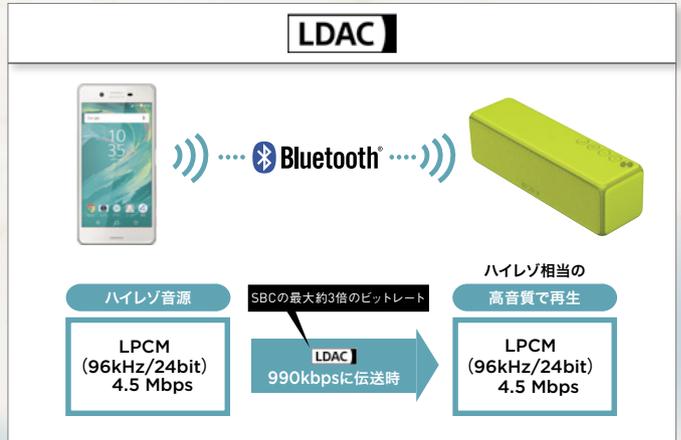
hear go
(SRS-HG1)

レス」×「ハイレゾ」

音楽を感動的にするには理由がある

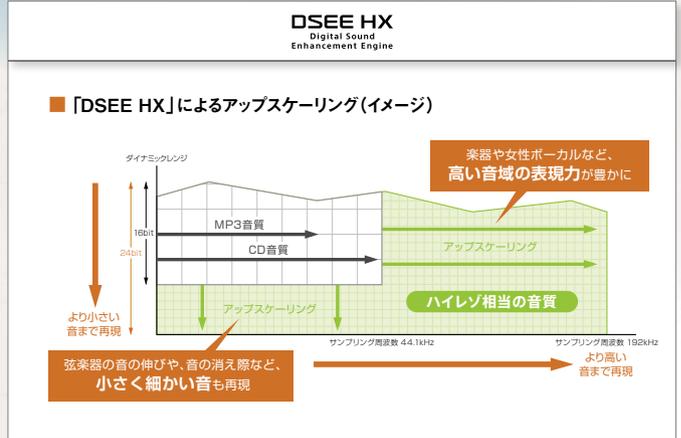
1 Bluetoothで、ハイレゾ相当の音質を実現した「LDAC™」

音楽の感動をそのまま再生できる「ハイレゾ」。従来のBluetoothでは対応できなかったハイレゾ音源のワイヤレス再生も、ソニーなら独自開発した高音質コーデック「LDAC」で、ワイヤレスでハイレゾ相当の音質の再生を可能にした。LDACでは一般的なBluetoothで採用される「SBC(328kbps/44.1kHz時)」コーデックと比較して、最大3倍もの情報量を持つため、ワイヤレスの伝送でも音源が本来持つ圧倒的な臨場感とパッションまでも届ける。LDACによる高音質伝送は、ハイレゾのみならずCD音源の再生でも有効だ。(折原)



2 どんな音楽データもハイレゾ相当にする「DSEE HX」

すべての音楽をハイレゾの高音質で体験したいけれど、手持ちのCD音源やスマホ・携帯音楽プレイヤーのライブラリもより高音質に聴きたい。そんな人に向けてソニーが独自開発している技術が「DSEE HX」だ。CDで採用される44.1kHz/16bitの音源や、MP3などの圧縮音源データを、楽器の倍音の響きや声の余韻のような音源の持つ本来の情報を補完して、最大192kHz/24bitのデータとしてアップスケーリング。どんな音源もハイレゾ相当として聴けるのだ。(折原)



3 Wi-Fiでもハイレゾ再生。月額音楽配信もいい音で

今、新たなリスニングスタイルとして2つのトレンドが急浮上している。ひとつはハイレゾだ。家の中で場所を気にせずゆったりと聴くなら、ホームネットワーク内にある音源をシェアするのが便利で、Wi-Fiに対応するソニーのワイヤレススピーカーなら、すぐにハイレゾを楽しめる。もうひとつは、月額制で聴き放題になる「ストリーミング再生」だ。ソニーなら「GoogleCast」にも対応。スマホのアプリからスピーカーにキャストするだけで、簡単に「いい音」で楽しめる。(折原)



Sony h.ear go

(SRS-HG1)

¥OPEN ▶投票 No.001

Hi-Res AUDIO Bluetooth LDAC

DSEE HX Digital Sound Enhancement Engine WiFi CERTIFIED Google Cast N

SPEC ●主な搭載機能:Bluetooth Ver.4.2(LDAC/AAC/SBC)、Wi-Fi、NFC、ハイレゾ再生(ワイヤレス/micro USB-B入力/ステレオミニ・アナログ音声入力)ほか ●ユニット構成:35mmハイレゾ対応フルレンジスピーカー×2、ハジップラジエーター×2 ●実用最大出力:12W+12W ●外形寸法:約204W×62H×60Dmm ●質量:約790g

INTRIOR LIST ●ソファタイプ 1850W×820H×850Dmm ¥55,371(税抜)以上、すべてDC OTSUKA



小型ボディに驚異の音響技術

目の前に歌声が浮かぶ臨場感 ピアノの音も生々しく再現

手のひらサイズで持ち運べるソニーの「h.ear go」。スマホの音楽を聴くワイヤレススピーカーのなかでも、ハイレゾ対応、Wi-Fiまで内蔵する高性能&高音質モデルとして人気を集めている。

人気の理由は、日本の音楽ファンの心を掴むJ-POPにマッチする音質にある。宇多田ヒカルの『花束を君に』をワイヤレス再生すると、その効果を実感。目の前で歌声が浮かび上がるような臨場感、息遣いも伝わるようなリアルな音。ピアノの音色も生々しく、バンド演奏の余韻がステージの広がりをも再現したのだ。

そんな「h.ear go」の高い音楽再現性の背景にあるのが、ソニー独自の音響技術である。フルレンジでハイレゾ再生を可能にした新規設計のスピーカーユニット。さらに左右の音が混濁しないようにセパレートされた内部構造など、オーディオメーカーとしてのノウハウが結集している。それらのテクノロジーを積み重ねて「h.ear go」は、小型ボディを堅持しつつも重低音のパワフルさ、J-POPのボーカルに求められるクリアな中高域、そして立体感のあるサウンドを獲得した。さらに、「EXTRA BASS」ボタンをONにすればクラブにいるような重低音も再現できる。一度体験すれば、ソニーの本気度を実感してもらえるはずだ。(折原)

CHECK

J-POPに最適な音質を実現した ドライバーユニットの秘密



①振動板

剛性の高い素材である「発泡マイカ」を素材に採用。また、振動板が駆動する距離を長くすることで、60~40,000Hzまでの広い再生周波数帯域を実現した。

②ネオジウムマグネット

低域から高域まで再生する振動板の駆動力を支えるマグネットには、高磁力として定評のあるネオジウムマグネットを採用。豊かな音の広がりにも寄与している。

③磁気回路

磁気回路とはユニットを動かす心臓部分のことで、正しい駆動ができるように構造を見直して歪を低減。クリアなボーカルや、一音一音の明瞭度が高いサウンドを獲得した。

COLOR



Sony SRS-ZR7

¥OPEN ▶投票 No.002



SPEC ●主な搭載機能:Bluetooth Ver.4.2(LDAC/AAC/SBC)、Wi-Fi、NFC、HDMI(ARC対応)接続、ハイレゾ再生(ワイヤレス/USB-A入力/USB-B入力/ステレオミニアナログ音声入力)ほか ●ユニット構成:45mmハイレゾ対応フルレンジスピーカー×2、約62mmサブウーファー×2、パッシブラジエーター×1 ●実用最大出力:23W×2+23W×2 ●外形寸法:約300W×93H×86Dmm●質量:約1.8kg

テレビとも繋がる2WAYワイヤレス

CHECK

1BOXボディの中に搭載される
合計4つのスピーカーユニット

①62mmサブウーファー

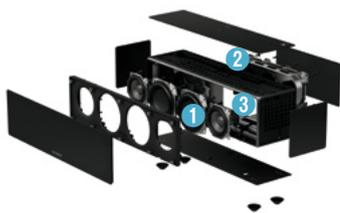
45mmのハイレゾ対応スピーカーだけではなく、小型スピーカーで再現が難しい重低音を再生する専用設計された62mm径サブウーファーを2基搭載している。

②パッシブラジエーター

ノイズのないキレのある低音再生のため、大型のパッシブラジエーターを背面に搭載。サブウーファーの背圧を素直に増幅し、省スペース化も実現した平面型の四角形状を採用。

③マルチアンプ構造

本機はユニットが持つ特性を最大限発揮できるように、4つのユニットそれぞれにデジタルアンプを配して、DSPで制御するマルチアンプ構造を採用している。



COLOR

ホワイト



ブラック



2chモデルを選ぶなら…

Sony
HT-ZR5P

¥OPEN ▶投票 No.003

P26へ
GO!

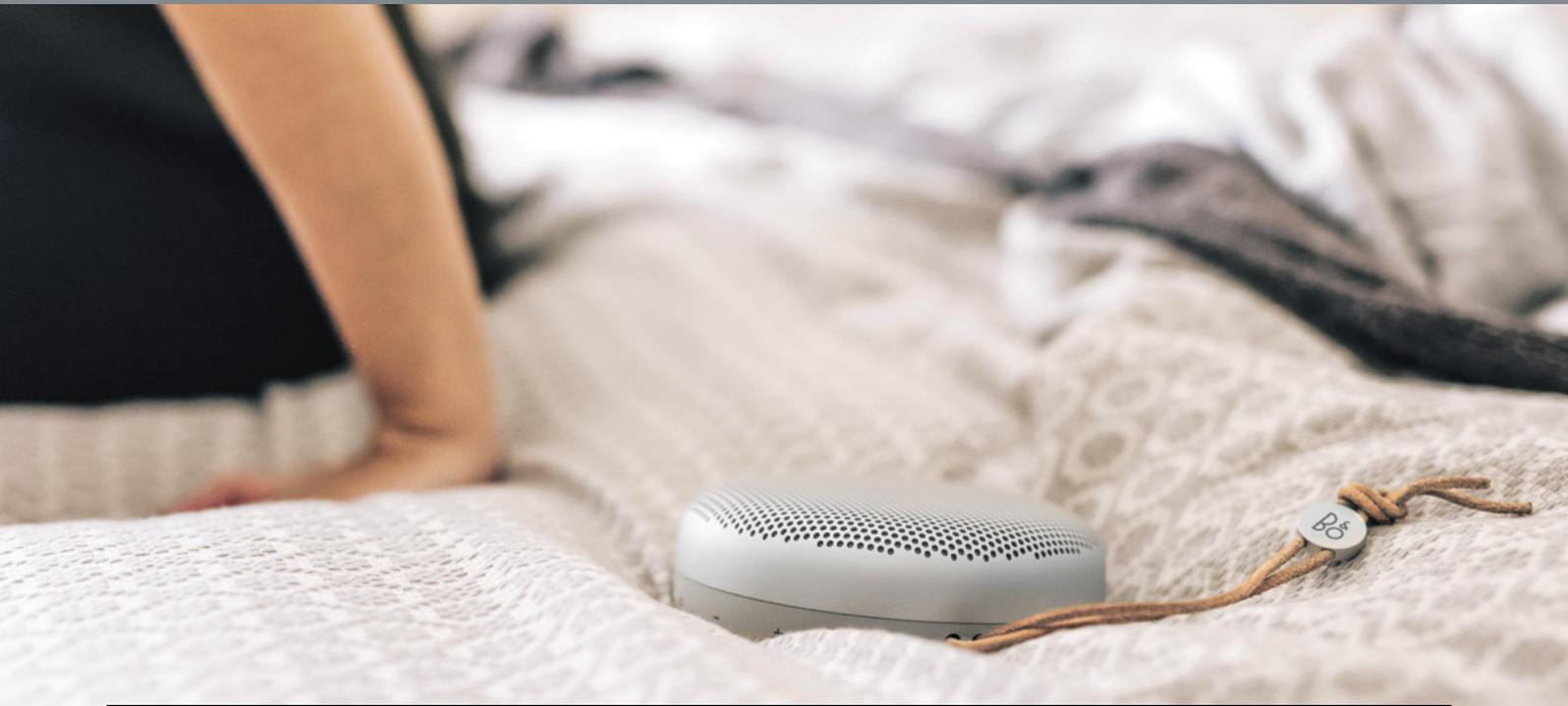
HDMI(ARC)外部入力端子を搭載 映画の低音も部屋中に広がる

スマホやタブレットとの親和性の高さから人気を博しているのがBluetoothスピーカーだが、この秋、特に注目したいのが、ソニーの新提案モデル「SRS-ZR7」だ。見た目はコンパクトで主張し過ぎない端正な佇まいながら、HDMI(ARC)外部入力端子を備え、テレビとの組み合わせも視野に入れたユニークな製品なのである。

実際にスマホやテレビと組み合わせて試聴すると、映画のセリフや音楽ライブのボーカルが肉厚かつ明瞭なのが印象的。さらに、低く深みのある低域が部屋中に広がり、柔らかく包み込まれるような心地よいサウンドを奏でる。

コンパクトなボディながら、こうした高度な体験をもたらすのは、ソニーならではの技術力があるからだ。合計4基のスピーカーユニットを搭載する音響技術に加え、ハイレゾ相当にアップスケーリングする「DSEE HX」機能も効果的で、ヒトの声がよく明瞭かつ生々しく迫ってくる。また、Wi-Fiを使ったハイレゾ再生やGoogle Castに対応するなど先進的な機能も見逃せない。

ホームシアターシステムが置けないような個室など、ミニマムなスタイルでテレビも、スマホの音源も高音質で楽しみたいユーザーに最適な高品位スピーカー。それが「SRS-ZR7」だ。(鴻池)



2016年秋冬の限定カラーも登場

どこにでも連れ出せる

才 | 色 | 兼 | 備 | な | ス | ピ | ー | カ | ー

Bluetoothスピーカーとは想像できない独創的かつ優美な曲線を纏う「BeoPlay A1」。インテリア・デザイナーであるセシリエ・マンツ氏が線を引き、B&O PLAYの技術者が内面を支える。そうして完成された機能美に富んだ革新のスピーカーをご紹介します。

取材・文／山本 敦



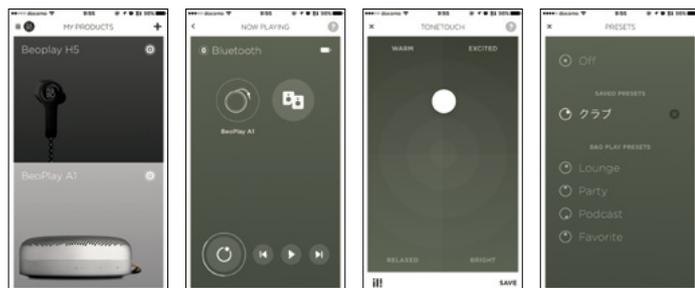
Technology

音は360度全方位に広がる

トワイターとフルレンジスピーカーの搭載、独自のDSPアルゴリズムにより、360度に音が広がる「True360オムニディレクショナルサウンド」を実現。置き場所にとらわれずに良質なサウンドを楽しめる。



Application



イコライザー機能も搭載するスマホアプリ

スマホアプリ「Beoplay」を使用すると、B&O PLAYが提供するBluetoothスピーカーやヘッドホンの音量調節などの操作を手元で行える。また、イコライザー機能も搭載することで、楽曲にあわせて好きな音に変更できる。

People

日本での発売にあわせて来日したバンク&オルフセンのグローバル・プロダクトマネージャー、ソフィー・H・キルドセン氏(左)と「A1」のデザイナーであるセシリエ・マンツ氏(右)。



B&O PLAY BeoPlay A1

¥27,685 (税抜) ▶投票 No.004 Bluetooth®

SPEC ●主な搭載機能:Bluetooth Ver.4.2、アナログ音声入力(ステレオミニ)ほか ●ユニット構成:3/4インチトワイター×1、3.5インチフルレンジ×1 ●実用最大出力:30W×2(クラスD) ●外形寸法:133W×48H×133Dmm ●質量:約600g

自由なリスニングスタイルを約束するサウンドと佇まい

遡ること90年前、今ふうには言うならば“スタートアップ”として起業したバンク&オルフセンは、オーディオにおける“デザインとテクノロジーの融合”をテーマに果敢なチャレンジを続け、今では世界的に有名なブランドにまで成長し、2012年に誕生したカジュアルブランドのB&O PLAYにもそのコンセプトは受け継がれている。

最新モデルの「BeoPlay A1」は他社製品と一線を画すユニークネスの詰まったBluetoothスピーカーだ。デザインを手がけたのは、世界的なインテリア・照明デザイナーとして活躍するセシリエ・マンツ氏。ワイヤレススピーカー「BeoPlay A2」や「Beolit 15」をヒットさせた立役者だ。彼女はプロダクトをデザインする際、いつも「先入観にとらわれない自由なスタンスで、製品の価値を内面から見つめて機能美を引き出すこと」をポリシーに掲げているという。BeoPlay A1の独創的なデザインはその定石に従って、どのような発想から生まれたのだろうか。マンツ氏に話を伺った。

「部屋の中だけでなくアウトドアにも持ち出して、自由なリスニングスタイルを見つけてほしい。そんな思いを込めてデザインしました。バッグに忍ばせたポータブルスピーカーが、いつでもスムーズに取り出せるようなシェ

イブにしています。ブランド伝統のアルミ素材が活かせるし、本革をワンプointにあしらえば柔らかさも引き立ちます」(マンツ氏)。

機能美は360度均一な音場もつくり出す。見た目と裏腹に、10畳を超えるリビングルームにも活き活きたサウンドを広げられるパワーを持っている。その実力に、最先端のスピーカー技術がこのコンパクトな筐体に整然と収まっていることを思い知らされ、あらためて「A1のオーナーであることの幸せ」を噛みしめる。音がよくて、優美なデザインのスピーカー。言うは易しだが、誰しもが形にできるものではない。スピーカーグリルは穴の数や位置にも気を配る。B&O PLAY流の繊細なクラフツマンシップがあつてこそ、前人未踏のゴールに辿り着いた。「美しい音楽をつくり出せるオーディオであること」。マンツ氏がB&O PLAYのプロダクトデザインを手がけてから、いつも大切にしている方向性だという。

その音に誰もが立ち止まるほどクリアで伸びやかなサウンド。パーティーチューンを鳴らせば、たちまち皆が音楽の周りに集まってくるだろう。秋には新色の「ブラック」と「ディープレッド」が加わり4色展開になる。あなたは何色のBeoPlay A1を携えて、どんなリスニングスタイルを見つけるのだろうか。

Powerful Baritone Sound

Sound Fidelity 590i



Design

iMACの洗練されたデザインに一体感を生み出すアルミニウムを採用

Wireless system

Bluetooth4.0/aptXに対応。遅延が少なく高音質なワイヤレス環境を創造

Baritone Sound

デュアルパッシブブラジエーターを搭載し、豊かな重低音を実現



Bluetooth 4.0



Apt-x



Touchpad



PREMIUM COMPACT AUDIO GUIDE

プレミアム
コンパクトオーディオ
ガイド

vol.11

音楽の楽しみを発見する コンパクトオーディオ

家でも外でも、スマホの音楽を“いい音”にできるコンパクトオーディオ。サウンドやデザイン、そして機能性にこだわったモデルが多数登場し、あなたのライフスタイルに合わせて選べるのだ。話題の定額音楽配信やハイレゾはよりいい音で、ネット動画は臨場感たっぷり。家じゅうを音楽で満たすマルチルーム配信という新提案まで。秋の夜長のお供に音楽のある暮らしを楽しんでほしい。



CONTENTS

TREND GUIDE

12 Bluetoothスピーカーで もっと遊ぼう!

モデル/池谷諒介、写真/井上良一



LIFESTYLE

14 IDC OTSUKA×本誌コラボ企画 暮らしにピッタリな コンパクトオーディオを選ぼう!

撮影協力/IDC OTSUKA 写真/広井一成



1BOX Bluetooth SPEAKERS

30 プレミアム1BOX 厳選レビュー

文/折原一也

HI-COMPO

33 3つのスタイルで選ぶ ハイレゾ・ハイコンポ

文/鴻池賢三



DESKTOP AUDIO

43 ヘッドホンも使える デスクトップオーディオ

文/編集部



締め切りは
2017年
1月31日
まで!



最新コンパクトオーディオ情報が満載!
オーディオ・ビジュアルのポータルサイト
「ファイル・ウェブ」毎日更新中!

<http://www.phileweb.com/>

企画・編集/株式会社 音元出版 SP DIVISION ☎03-3255-4471
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-9 第七東ビル8F
デザイン/PUMP WORK SHOP、SLOW、STAND、角田圭司 製版/コスモグラフィック
表紙撮影/田代法生 撮影協力/IDC OTSUKA 印刷/大日本印刷

▼ハガキ or ケータイアンケートで豪華景品を当てよう!

今号もお手に取っていただき、ありがとうございます。日頃のご愛顧に感謝の気持ちを込めて、ハイレゾ対応のBluetoothスピーカー、オンキヨー[X9]などが当たる豪華プレゼントを用意しました。本誌に添付するハガキもしくはスマートフォン、PCからドシドシ応募ください。

<http://www.phileweb.com/enquete/pca11/>





重低音がズンズン響く!

スマホの音楽が**いい音に!**

Bluetoothスピーカーを ゲットしよう!

スマホの音楽や動画を、スマホ本体のスピーカーで聴いてはもったいない。せっかくなら「Bluetoothスピーカー」で、いい音を気軽に楽しもう! 見た目はコンパクトながら迫力のサウンドを味わえる感動を!

機能満載でいまが買いどき

「Spotify」がついに日本でもサービスがはじまり、ますます広がりを見せる定額の音楽ストリーミングサービス。最近では「スマホだけで音楽や動画を楽しむことが多い」という方もいるだろう。そんなコンテンツを再生するなら、スマホではなく、Bluetoothスピーカーで手軽に、しかも「いい音」で楽しんでみてはいかがだろうか?

最新のBluetoothスピーカーは、見た目はコンパクトでも、しっかり低音が効いていて、部屋じゅうを臨場感のあるサウンドで満たせるものばかり。普段スマホで楽しんでいる音楽や動画の新たな魅力に気づくこと請け合いだ。

さらに機能も年々進化。バッテリー内蔵で持ち運べるもの、防水・防滴のもの、ハイレゾ再生に対応したものなど、個性はさまざまで、

自分に最適なモデルを選ぶ楽しさがある。

Bluetoothスピーカーが一台あれば、毎日の暮らしがもっと充実すること間違いなし。「今日はBBQにBluetoothスピーカーを持ち出してみようか」などと考えるのもワクワクするではないか。さあ、Bluetoothスピーカーで「いい音」のある暮らしをはじめよう。

CHECK 音楽ストリーミングサービスをBluetoothスピーカーで聴こう!

▶ 注目の音楽ストリーミングサービス

				
Spotify	Apple Music	AWA	Google Play Music	LINE MUSIC

最新のBluetoothスピーカーは こんなにスゴイ!



かざすだけでペアリング

NFC対応のBluetoothスピーカーが増加中。NFC対応のスマホをスピーカーにかざすだけで、Bluetoothのペアリングができるので、面倒だったペアリングの操作が不要。対応スマホを持っているなら、必ずチェックしよう。

**Monster
SoundStage
S3**
¥OPEN

01
接続はNFCで
かんたんワンタッチ



02 バッテリー搭載 外で使える!



レジャーのお供に音楽を

バッテリー搭載のポータブルスピーカーなら、キャンプやBBQなどのレジャーにだって音楽を気軽に音楽を持ち出せる。水辺で使用するなら、IPX4以上の防水・防滴性能を備えたモデルを選ぼう。



**Sony
h.ear go
(SRS-HG1)**
¥OPEN

おうちフェスで盛り上がる

最新のBluetoothスピーカーは、複数台のスマホと同時にペアリングできる「マルチポイント接続」に対応するものもある。たとえば、友人同士が集まった時も、スマホの音楽をみんなで流しあえば、「おうちフェス」気分になれるはず!

**Sony
SRS-XB3**
¥OPEN



03 みんなの音楽を 交互に楽しめる!



ほかにもある! スゴイBluetoothスピーカー

ダイニングでも、寝室でも!



ダイニング



寝室

音楽を家じゅうでシェアできる

Bluetoothスピーカーは一部屋だけで使うものと思われがちだが、そんな従来の使い方を刷新するようなスピーカーも登場。ヤマハの独自ネットワーク機能「MusicCast」に対応したモデルは、各部屋に対応モデルがあれば、スマホやPCなどに保存されている音楽をネットワーク経由で個別に再生したり、同じ楽曲を同時に再生したりすることができる。たとえば、リビングで聴いていた音楽の続きを寝室で楽しむなど、大好きな音楽を家じゅうでシェアできる喜び、ぜひ味わってほしい。

家じゅうの空間で
音楽がつながる



**Yamaha
WX-010**
¥OPEN

Model.01 [キルバーン]

KILBURN



¥OPEN ▶投票 No.005

Bluetooth

SPEC ●主な搭載機能:Bluetooth 4.0 + EDR、アナログ音声入力(ステレオミニ)、バッテリー内蔵 ほか ●外形寸法:242W×140H×140Dmm ●質量:3.00kg



Model.02 [アクトン]

ACTON



¥OPEN ▶投票 No.006

Bluetooth

SPEC ●主な搭載機能:Bluetooth 4.0 + EDR、アナログ音声入力(ステレオミニ) ほか ●外形寸法:265W×160H×150Dmm ●質量:3.00kg



ライブの熱気を伝える “マーシャル” スピーカー

ロックと相性のよいデザインとビート

「Marshall」のロゴは、ロック好きなら一度は目にしたことがあるかもしれない。時代を遡ると、1960年に、ドラマーでもあったジム・マーシャルがドラムショップをオープンするところから歴史がはじまった。その当時からミュージシャンとの繋がりが深く、数々の伝説的なロックステージにマーシャルのギターアンプが使われてきた。

そうした名機の姿カタチを色濃く反映したのが「Marshall HEADPHONES」のBluetoothスピーカーだ。光デジタル入力やaptXなどにも対応するトップモデル「WOBURN」(実売¥68,000前後)を筆頭に、サイズダウンした小型モデル「ACTON」(実売¥32,000前後)、ACTONと同様のサイズで持ち手となるストラップをつけた「KILBURN」(実売¥37,500前後)、そして薄型モバイルモデルで、スマホの給電機能がある「STOCKWELL」(実売32,000前後)をラインアップする。それぞれに強い個性を放つが、サウンドの方向性としてはロックと相性のよいタイトな低音と、きらびやかな中高域が持ち味。天面にあるEQ機能で自分の好きなサウンドに調整できる喜びもある。インテリアとしても個性を発揮するマーシャルにぜひ注目してほしい。

Marshall HEADPHONES

伝説的なロックのステージで使われたマーシャルアンプ。そのギターアンプのデザインをそのまま小型化したBluetoothスピーカーが、価格もお求めやすくなり登場。サイズ別に個性も異なるラインアップを紹介しよう。

文/編集部

Model.03 [ウーバン]

WOBURN

¥OPEN ▶投票 No.007

Bluetooth

SPEC ●主な搭載機能:Bluetooth 4.0 + EDR(aptX/SBC)、光デジタル音声入力、アナログ音声入力(RCA/ステレオミニ) ほか ●外形寸法:400W×308H×200Dmm ●質量:7.90kg



Model.04 [スtockウェル]

STOCKWELL

¥OPEN ▶投票 No.008

Bluetooth

SPEC ●主な搭載機能:Bluetooth 4.0 + EDR、アナログ音声入力(ステレオミニ)、バッテリー内蔵 ほか ●外形寸法:260W×140H×41Dmm ●質量:1.20kg



※オプションでカバーも発売

PART.01&02

リビングルーム ×



暮らしにピッタリな コンパクトオーディオを 選ぼう!

“音楽”のあるシーンで
豊かなライフスタイルを!!

日常に“音楽”のエッセンスを加えることで、ライフスタイルをより華やかに。
そんな暮らしを手軽に楽しめるアイテムが「コンパクトオーディオ」だ。
リビング、書斎、キッチン、それぞれのシーンで最適なアイテムを紹介していきたい。



PART.03

書斎 ×



Shop Information

IDC OTSUKAで ライフスタイルを華やかに!

この特集にご協力頂いたのは、全国17店舗を展開する「IDC OTSUKA」。より身近になった新生大塚家具は、コンパクトオーディオのアイテムにピッタリの素敵なインテリアが展開されている。ホームページをご確認のうえ、ぜひお近くのショールームへ!



撮影
したのは
こちら

IDC OTSUKA 有明本社ショールーム
東京都江東区有明3-6-11 東京ファッションタウンビル 東館
☎03-5530-5555 <http://www.idc-otsuka.jp/>

PART.04

キッチン ×



リビング×ワイヤレススピーカー



INTERIOR LIST

●ソファ:アーツロ 1960W
× 840H × 840Dmm
¥229,630(税抜) ●ロー
テーブル:エディションブルー
209 750W × 380H ×
750Dmm ¥49,400(税
抜) 以上、すべてIDC
OTSUKA

ワイヤレスで迫力のある音を リビングで手軽に楽しめる!

見た目はコンパクトでもしっかり“いい音”が楽しめ、スマホやタブレットなどに入っている音楽も手軽に再生できるアイテムがワイヤレススピーカー。小型なためリビングのセンターテーブルなどにも置いて、設置場所を選ばないのも特長。カラーバリエーションが豊富なモデルなら、インテリアにマッチするアイテムを選べる。

Topics iPhone 7ともワイヤレスで!

Bluetoothに対応しているモデルなら、iPhone 7などのスマートフォンやタブレットなどの音楽をワイヤレスで再生できる。



Bluetooth



Pick Up!

B&O PLAY

BeoPlay A1



¥27,685(税抜) ▶投票 No.009 Bluetooth

世界的なデザイナー、「セシリエ・マンツ」によるデザインもさることながら、360度に音が広がり、臨場感あふれるサウンドが楽しめるモデル。アルミを使ったドーム型ボディはとてもエレガント。ストラップもあり、手軽に持ち運べるのも特長だ。

Recommend Model

Bose SoundLink Mini Bluetooth speaker II

¥25,000(税抜) ▶投票 No.010 Bluetooth

片手で持てるサイズで、ボーズならではの迫力ある音を楽しむ本格派モデルだ。約10時間の連続再生が可能。ボディの天板部に電源のオン/オフや音量調整のボタンが付いており、操作も快適。

IRIVER LS150

¥OPEN ▶投票 No.011 Bluetooth

ホワイトカラーでシンプルなデザインだから、ナチュラルな印象のリビングにもマッチ。BluetoothからWi-Fiまでワイヤレス機能が充実。ハイレゾ音源も迫力あるサウンドで再生できるモデルだ。

dB TECHNOLOGY Live Stage 999

¥16,000(税抜) ▶投票 No.012 Bluetooth

奥行きわずか28mmという超薄型ボディながら、リビングでも十分に広がりのある重低音サウンドが楽しめるのが持ち味。小音量時でも自動で低音を補正してくれる、オートラウドネス機能も搭載する。

リビング×ハイコンポ

INTERIOR LIST

●サイドボード150: ノルディー 1500W×700H×430Dmm ¥185,000(税抜)
●ラフソファ: ベッディ 1680W×840H×840Dmm ¥55,500(税抜)以上、すべてIDC OTSUKA



音楽を多彩に楽しめるから 家族の集まるリビングに最適!

CDや音楽ストリーミングサービスなど、さまざまな再生方法に対応してくれるのがハイコンポだ。だから世代を越えて楽しめる。BluetoothやWi-Fiによるワイヤレスリスニング、CDよりもさらにリアルな音を楽しめるハイレゾ再生も叶えてくれる。長年高級オーディオに携わるブランドのモデルが多いのも特長で、音のよさにこだわりたい方にお薦め。

Topics

“ハイレゾ”はCD以上に音がリアル!

CDの約3~6倍、またそれ以上の音の情報量を持つハイレゾ音源は、今までにないリアルなサウンドを堪能できる。



Pick Up!

Pioneer X-HM76

¥OPEN ▶投票 No.013 Bluetooth

BluetoothやWi-Fiなどワイヤレス再生の音楽だけでなく、オーディオの高級機から受け継いだハイレゾ再生も楽しめるハイコンポだ。ハイレゾ配信サイトとの連携により、ハイレゾ音源を手軽にダウンロードできるのも特長。

Recommend Model



AUREX
TY-AH1000 Bluetooth

¥OPEN ▶投票 No.014

USBメモリーを直接繋げるだけでハイレゾ再生ができ、CDやBluetoothも楽しめるモデル。プレーヤーとスピーカーが一体で、設置が簡単なので使い勝手もよい。



MARANTZ
M-CR611

¥70,000(税抜) Bluetooth

高級オーディオで人気を博すブランド「MARANTZ」のハイコンポ。再生方法が豊富で、極上のサウンドも楽しめるプレミアムなシステム。B&Wにベストマッチ。



B&W CM1 S2

ピアノブラック→¥140,000(税抜/ペア)
ローズナット→¥128,000(税抜/ペア)

▶投票 No.016 Bluetooth



Yamaha
CRX-N470

¥58,000(税抜)
▶投票 No.017

ナチュラルなサウンドでBluetoothからハイレゾまで楽しめるハイコンポ。専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」を使えば、音楽再生をさらに快適に楽しめる。



Yamaha
NS-BP182

¥18,000(税抜/ペア)
▶投票 No.018

書斎 × デスクトップスピーカー



INTERIOR LIST

● デスク:ホリス 1500W×720H×650Dmm ¥50,741 (税抜) ●
 チェア:セトウチェア 620W×940H×440Dmm ¥83,000 (税抜) ※メーカー希望小売価格 ● 書棚:ホリス DD-HB600 600W×1004H×325Dmm ¥82,224 (税込) 以上、すべてIDC OTSUKA

パーソナルな空間でコンテンツに没頭できるデスクトップスピーカー

音楽から動画までPCで楽しめるコンテンツを、“いい音”で作品に没入できる空間をつくらせるのがデスクトップスピーカーだ。スペースの確保が難しいデスクトップ周りでも、余裕をもって設置できるコンパクトサイズで、PCと繋げるのも簡単なモデルも多数登場している。PC周りをあなただけのライブステージに変えてくれる画期的なアイテムである。

Pick Up!



Sony HT-ZR5P

¥OPEN ▶投票 No.019 Bluetooth®

テレビスピーカーとしてだけでなく、PCと繋げるデスクトップ用途のスピーカーとしても高い性能を持つモデル。CDジャケット程のコンパクトな幅ながら、多くの音楽ジャンルを鳴らしきるサウンドが魅力だ。

PCと簡単に繋がられる! Topics



ステレオミニで手軽に接続

ステレオミニに対応したケーブルを使えば、PCと簡単かつ手軽に繋がられる。

Recommend Model



GENELEC
G One

¥OPEN
▶投票 No.020

レコーディングスタジオなどのモニタリングスピーカーのブランドとして高い人気を誇るジェネレックのモデル。プロもイチオシの本格的なサウンドを楽しめる。

KEF
EGG

¥65,000 (税抜/ペア)
▶投票 No.021

Bluetooth®

流麗なデザインで質感豊かなボディが特徴的なデスクトップスピーカー。ステレオミニでの接続だけでなく、USBでPCと接続すればハイレゾ再生にも応えてくれる。



VECLOS
SSA-40S

¥OPEN
▶投票 No.022

Bluetooth®

魔法びんの「サーモス」が生んだステレオタイプのデスクトップスピーカーだ。クリアなサウンドが特徴的な“真空管サウンド”を堪能できるのが最大のメリット。

キッチン×ワイヤレススピーカー



INTERIOR LIST

●カウンターリユクス 1204W
× 963 H 450 D mm
¥175,723(税抜) ●ダイニ
ングボードリユクス 2300W×
2020H×500Dmm 合計
¥458,429(税抜) 以上、す
べてIDC OTSUKA



JBL

JBL CHARGE3

Pick Up!

¥OPEN ▶投票 No.023 Bluetooth

ボトルチューブ型でデザイン性も高く、頑丈で耐久性も抜群なモデル。また厚みのある低音とクリアさを併せ持つサウンドが特長だ。万が一の水没にも耐える防水性能の高さもメリット。

水回りでも使えるモデルなら クッキング中にも大活躍!

ワイヤレススピーカーはさまざまなシーンで活用できるが、防滴機能が採用されているモデルなら、キッチンの水回りでも安心して使い、お料理をしながら好きな音楽を楽しめる。またコンパクトタイプが多く、キッチンのスペースを気にせず、スピーカーを置けるのも魅力だ。

Topics 「IPX7」対応は防水性能が高い証

防水性能「IPX7」に対応しているモデルなら、水深1mの水中に最大30分間入れてもスピーカーに浸水しないことを定義する。キッチン以外にお風呂でも使える。



Recommend Model



ELECOM
LBT-SPWP200

¥OPEN ▶投票 No.024

Bluetooth

キャンドルをモチーフとしたシルエットと白磁器をイメージした清楚感のある質感で、キッチン周りのイメージにもピッタリ!



Sony
SRS-XB2

¥OPEN ▶投票 No.025

Bluetooth

サイズを超えた重低音と音圧を両立。ワンタッチで簡単に機器のペアリングができる「NFC」機能も搭載。カラバリも豊富。

Pick Up!

音楽だけじゃない! 光でも空間を演出する

音楽を“いい音”で楽しめるだけでなく、ライティングやイルミネーションなど“光”によって、空間を演出してくれるワイヤレススピーカーなら、日常を新たな色に染めてくれる。



DIVOOM
Aurabox

¥OPEN
▶投票 No.026

Bluetooth

イルミネーションをスマホアプリで操作できる機能を搭載。音楽だけでなく、イルミネーションの動きもユーザー好みに楽しめる。



JBL
JBL PULSE2

¥OPEN
▶投票 No.027

Bluetooth

「JBLプリズムカラーセンサー」で、インテリアなど特定の色を認識してイルミネーションを変えられる、遊び心に富んだモデル。



Sony
LSPX-S1

¥OPEN
▶投票 No.028

Bluetooth

透明感のある美しい音色でリラックスした空間をつくりだしてくれる“グラスサウンドスピーカー”。ロウソクのように灯る光も魅力。



Life Space UX

光と音楽が

Life Space UX /

どんな場所でも一瞬で極上の空間になる

穏やかな光を揺らめかせながら、部屋に佇むワインボトルサイズのオブジェ。しかも、そこからは音楽が優しげに漂う。

グラスサウンドスピーカー「LSPX-S1」は、そんなふうな、これまでのスピーカーとは全く異なる発想で姿を現した。ただ、前身となったモデルは存在する。それが2008年に発表された“サウンティーナ”「NSA-PP1」で、そこで培った技術をブラッシュアップし、サイズも小型化、さらにワイヤレスでの再生にも対応するなど大幅な進化を果たした。

サウンド面の鍵を握るのは有機ガラス管を使用した筒状の部分。ガラス管の下端に新開発した加振器やサスペンションを取り付け、それらがガラス管を振り、クリアな高域を360°方向に放つ。(この方式は「アドバンスド パーティカル ドライブ テクノロジー」と呼ばれる)。

また、上面にはパッシブブラスジエーターをマウントし、豊かな低音を狙う。

さらに底面には50mmのウーファーを下向きに配置し、そこから再生される中低域は円錐状のリフレクターで拡散される。

充電式バッテリーも内蔵し、さらにBluetoothによるワイヤレス伝送も可能。つまり、コンセントの場所や音声ケーブルを気にすることなく、どんな場所にもセッティングできるわけだ。実際にダイニングテーブルの上に置いて使用してみた。そのサウンドは、たとえば女性ボーカルでは声がふわりと浮かび上がり、テーブルの上から部屋の隅々にまで満ちてゆく。一般的にデザインコンシャスなこうした製品では音質が物足りない場合がある。しかし、そんな印象は皆無。いやそれどころか通常のオーディオセットでは味わえない浮遊感さえ味わうことができた。そして、そこに灯るフィラメント型LEDによる柔らかな光。音楽とあかり、そして部屋の空気がまるやかに溶け合ってゆくようだった。



つむぐ上質な暮らし

ソニー

生活空間。それは自分が帰る家であり、時には集中する場所でもある。
心を解き放ちリラックスできる普段の暮らしと融和する自然な光と音楽。
どんな場所でも上質な空間にするソニー「Life Space UX」の商品群。その魅力に迫る。

取材・文／中林直樹

グラスサウンドスピーカー

Sony LSPX-S1

¥OPEN ▶投票 No.029 Bluetooth LDAC N

SPEC ●主な搭載機能:Bluetooth 3.0(LDAC/aptX/AAC/SBC)、NFC、アナログ音声入力(ステレオミニ) ほか ●ユニット構成:有機ガラス管型トワイター×1、50mmウーファー×1、パッシブラジエーター×1 ●実用最大出力:13W(ウーファーのみ) ●外形寸法:約φ82×303Hmm ●質量:約920g



※1 防水・防塵機能は搭載しません。屋外での利用はメーカーの保証外です。



“いつもの空間をそのままに音と光が降り注ぐ新体験を”

今ある電球と取り替えるだけで音楽空間に

「LSPX-103E26」は、多彩なモデルが発売されるBluetoothスピーカーの 카테고리にあるものの、異色の存在だ。それは照明とドッキングしているから。しかもLED電球とである。ソケット部分は一般的なサイズ(E26 ※2)。だから取り付けられる場所の選択肢は極めて高い。スピーカーの駆動はもちろんソケットから給電できるから、新たなケーブルや面倒な配線も必要ない。いまある電球と取り替えるだけで、そこがリスニング空間に変化するのだ。ダイニングのペンダントライト、もしくは寝室のスタンド、あるいはトイレのダウンライト…。想像するだけでも楽しい。

基本操作は付属のリモコンか専用アプリで行う。32段階の明るさの調節や、192色の色を選択できる。さらに楽曲とカラーとが連動して自動的に変更する機能も搭載。リラックスするためだけでなく、仲間たちとの賑やかなパーティーにも使えそう。

実際にリビングのペンダントライトに取り付けてみた。再生した瞬間、いままで体験したことのない感覚に襲われた。それは音楽がシャワーのように降り注いできたから。しかも、波紋のように自然に広がってゆく。ボーカルやピアノは爽やかに伝わってきた。驚いたのは小型にも関わらず、ベースやドラムスが力強く表現されたこと。このクオリティならどんな音楽にもマッチするだろう。音楽と光を好きな場所で自在に操る。それは普通の暮らしの中のさりげない喜びだ。

LED電球スピーカー

Sony
LSPX-103E26



¥OPEN ▶投票 No.030 Bluetooth

SPEC ●主な搭載機能:Bluetooth 4.1 (AAC/SBC)、NFC ほか ●ユニット構成:40mmフルレンジ×1 ●実用最大出力:2W ●外形寸法:約φ61×116Hmm ●質量:約198g

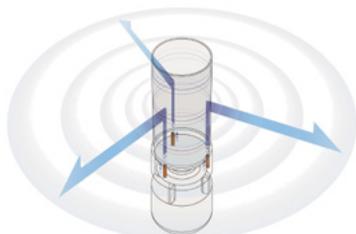


コントロールは手元で

ペアリングなどの各種設定や音量調整、カラーの変更などは付属のリモコンや、スマホのアプリで簡単に操作できる。

Life Space UXの音響技術

ガラスサウンドスピーカー | LSPX-S1



上図のオレンジ色の「加振器」による振動が、有機ガラス面全体に隅々まで伝わることで、円筒状の音を作るソニーの独自技術「アドバンスド パーティカル ドライブ テクノロジー」を搭載。歪みの少なさが、透明感のあるサウンドにつながっている。

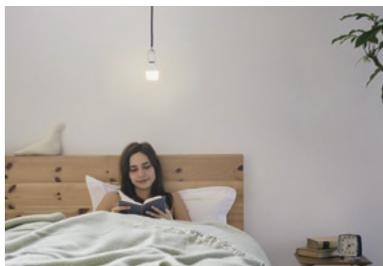


円筒の上面には「バッシブラジエーター」を搭載。これはスピーカー筐体内の空気振動を活かす技術で、良質な低音を再生するのに役立つ。さらにエッジを半透明にすることで、佇まいの美しさを一層引き立てている。



底部には50mmウーファーから出る音を360度に拡散するリフレクターを搭載。立体感、広がりのある音を実現するのに寄与している。また、Bluetooth以外にもステレオミニ端子からアナログ接続もできる。

LED電球スピーカー | LSPX-103E26



煩わしい配線なしに、電球を交換するだけで音楽がまるでシャワーのように降ってくる。機器の存在すら感じさせない佇まいを持つ。また、2台接続すれば、ステレオモードになり、広いエリアをカバーできる。



コンパクトなボディにφ40mmのスピーカーを搭載。電球前面に設置されたスピーカーの影が出ないよう設計されており、LED電球のグローブや発光方法を工夫し、音質と光の質の両方を損ねることがないようにしている。



LED電球の白色点灯時の明るさは500ルーメン。リモコンやアプリを使って、LED電球を192色から好きな色に変更することもできる。またスリープタイマーや、Android™機器なら、Bluetooth接続してウェイクアップタイマー機能も使える。

開発者の声



ソニービデオ&サウンドプロダクツ株式会社
V&Sプラットフォーム開発部門
サウンドシステム開発部
音響開発1課
アコースティックマネージャー
鈴木伸和氏

こだわり抜いた確かな技術を吟味して採用

「Life Space UX」は、言葉通りに「生活空間における新しい体験」をもたらす製品づくりがコンセプトです。今ある生活空間を生かしたまま、豊かな体験をお届けしたいという想いから、企画はスタートしています。ガラスサウンドスピーカー「LSPX-S1」は、「Sountina(サウンティーナ)」「NSA-PF1」が原型にあります。私はサウンティーナの開発をしていたので、Life Space UXのガラスサウンドスピーカーの開発にも部署の垣根を越えて携わりました。サウンティーナもガラスサウンドスピーカーもコンセプトは同じです。2本のスピーカーで聴く、これまでのリスニングスタイルの概念から離れ、自然と音楽が空間にある

体験を提供したかったのです。そのためガラスサウンドスピーカーに搭載される音響技術は、サウンティーナをベースにしてさらにブラッシュアップしたものです。ギミック的なものではなく、音響としてこだわり抜いた確かなものを吟味して採用しています。たとえばボディは切削アルミを使い、一つ一つの特性にバラツキができないようにすることで個体差をなくしています。またアルミはボディの剛性を高めることにもつながり、俊敏な音の再生、透明感のあるサウンドに寄与しています。その一方で、電源を落とすとと蠟燭のようにふわっと光が消えます。そうした温かみのあるインターフェイスにもご注目ください。



有機ガラスの透き通ったデザイン、サウンドで人気を博した円筒型のスピーカー、「Sountina(サウンティーナ)」「NSA-PF1」。



Monster SoundStage S3

¥OPEN ※2016年11月発売予定 ▶投票 No.031

SPEC ●主な搭載機能:Bluetooth、Wi-Fi、NFC、microUSB給電、スマホ給電機能、デジタル音声入力(光)、アナログ音声入力(ステレオミニ)ほか
●外形寸法:約406W×191H×102Dmm



天面にはレザーをあしらった高級デザイン。筐体もスリムだ!



「Spotify」対応のサウンドステージで

家を音楽で包み込め

多くのアーティストとのリレーションシップを結ぶアメリカのMonster社。

ストリート系のデザインが多い中、正統派デザインの本格コンボ「SoundStage」が登場した。

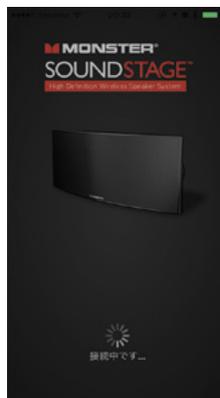
マルチルーム機能やSpotifyの再生にも搭載する本機のプロフィールを紹介しよう。 文/編集部



マルチルーム機能「AllPlay」を搭載

ストリートでタフに使えるデザインと機能、サウンドを持ったスピーカーを数多く誕生させるMonster(モンスター)。しかし、ここでご紹介する「SoundStage(サウンドステージ)」は、正統派デザインを纏ったWi-FiとBluetoothに対応するプレミアム・ワイヤレススピーカーだ。一番の特徴は「Qualcomm AllPlay」という、スマホの操作だけで家中にある対応スピーカーから、音楽を同時に再生できる機能を持っていること。しかも再生コンテンツはスマホに入った音源だけでなく、この秋に日本でもサービスインした注目の音楽配信サービス「Spotify」にも対応。家じゅうを音楽でいっぱいにすることができるのだ。サウンドも小音量でも大音量でも、音のバランスが崩れないモンスターサウンドを再生してくれる。ラインアップはサイズ別に3つ。部屋の大きさに合わせて選ぼう。

Detail



アプリでかんたんに設定

設定は専用のスマホアプリ「Monster SoundStage」を使って設定できる。WPSに対応するので、ワンタッチでWi-Fi設定できる。定額音楽配信は「Spotify」のほか、国内では「レコチョクBest」などの再生が可能だ。

Lineup



Monster SoundStage S2

¥OPEN ※2016年11月発売予定 ▶投票 No.032

SPEC ●外形寸法:約324W×172H×102Dmm



Monster SoundStage S1

¥OPEN ※2016年11月発売予定 ▶投票 No.033

SPEC ●外形寸法:約292W×124H×89Dmm



圧倒的な
パワフルサウンド



現代に蘇る “BoomBox”

ヒップホップカルチャーのアイコンでもあった「BoomBox」。
一世を風靡したそのスタイルが、現代的な機能とサウンドを備えて復活。
モンスターの「Blaster」で、どこでも迫力な音を響かせろ！
文/編集部



Monster Blaster

¥OPEN

▶投票 No.034

SPEC ●主な搭載機能: Bluetooth、NFC、スマホ給電機能、アナログ音声入力(ステレオミニ)、マイク入力ほか
●出力: 90W ●バッテリー持続時間: 約12時間 ●外形寸法: 約460W×190H×200Dmm ●質量: 約5.7kg



現代的なサウンドと機能性を持つ

外に持ち出すポータブルスピーカーの先駆的な存在「BoomBox」。モンスターの「Blaster」はそのストリートカルチャーの象徴のスタイルを纏いつつ、Bluetoothによるワイヤレス機能を搭載した最新BoomBoxだ。スピーカーは前後双方向に配置されて360度に広がり、室内用とアウトドア用のそれぞれに最適な再生モードを搭載。実際に再生しても、低音を効かせつつ、バランスのよいパワフルなサウンドを楽しめる。その出力も大きく、マイク入力を使えばポータブルPA機器としても活用できるほどだ。さらに外に持ち運びやすいように高い機能性もある。持ち運びやすい取っ手が付いたり、駆動時間は約12時間という十分な量を確保したり、USB端子からスマホの給電もできたりする。秋の行楽シーズン、家でもキャンプにも使ってほしいワイヤレススピーカーだ。

Detail



肩に乗せる 正統派スタイル

1980年代、肩にBoomBoxを乗せるスタイルが一斉に風靡したが、「Blaster」もまた肩乗せするのに最適な筐体サイズを持っている。

外でも使える IPX5の防水機能

IPX5相当の生活防水機能も搭載。アウトドアでの突然の雨や、水辺で使っても安心の機能だ。



リビングの特等席に置く 2chワイヤレススピーカー

家の中で一番リラックスできる場所「リビング」。

特にテレビの前は家族が座れるソファがあり、エンターテインメントの特等席！

そんな家族が集まる場所に最適なワイヤレススピーカーが「HT-ZR5P」だ。

今回はいつもの音楽やテレビの映画も、臨場感たっぷりに楽しめる

本機の魅力を、オーディオ評論家の鴻池賢三氏が解説しよう。

取材・文／鴻池賢三

写真／広井一成



2chワイヤレススピーカー

Sony

HT-ZR5P

Bluetooth LDAC N WiFi CERTIFIED ¥OPEN ▶投票 No.035

SPEC ●主な搭載機能:Bluetooth 4.2(LDAC/AAC/SBC)、Wi-Fi、NFC、HDMI(ARC対応)接続、ハイレゾ再生(ワイヤレス/USB-A入力)、アナログ音声入力(ステレオミニ) ほか ●ユニット構成:14mmトイーター×1、70mmウーファー×1 ●実用最大出力:40W+20W ●外形寸法:約101W×161H×101Dmm ●質量:約1.7kg(1台あたり)

INTERIOR LIST ●テレビボード:フレイズ
1800W×490H×400Dmm ¥64,630(税抜)
以上、すべてIDC OTSUKA

Technology_ CDジャケットサイズのボディに革新の技術を搭載



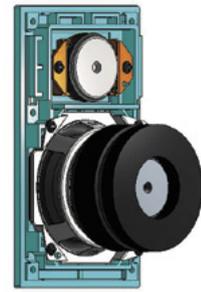
左右スピーカーは完全に独立

各スピーカーは2ウェイ構成を採用。お互いの接続まで無線で行うので、組み合わせるテレビの画面サイズが大きくても設置は可能だ。



左右対向のパスシブラジエーター

深い重低音の再生に寄与するパスシブラジエーターを、キャビネットの側面に配置。左右対向配置することで、不要振動も排除している。



剛性の高い筐体設計

パワフルなウーファーユニットから発生される背圧に負けないように、厚みを持たせたパツフルパネルを採用して、高い剛性を確保している。

Style_ プライベートルームでも活躍



スピーカーサイズは横幅10cm程度なので、デスクトップ用にも最適。PCやタブレットとも手軽にBluetoothで接続できる。

広がりのある音が映画の臨場感も巧みに再現

音楽を聴くスタイルは百人十色。近年では、スマホと小型のBluetoothスピーカーを使ったスタイルは一般的になり、音楽の楽しみ方はさらに広がりを見せている。そんな中、ソニーからHi-Fiオーディオライクな2chワイヤレススピーカー「HT-ZR5P」が登場した。HDMI端子を搭載し、テレビの両脇に設置することも想定したシステムである。

そもそもテレビは家の中で一等地を占めているケースが多く、オーディオとしても絶好のポジションといえる。今では、多種多様なホームシアタースピーカーが製品化されているが、ほとんどの製品はBluetooth接続機能を備え、スマホの音を手軽に鳴らすことができる。そうしたシアターとオーディオとの兼用スタイルはすっかり定着し、人気を博しているのだ。本機はリスニングスタイルの変化を捉えつつ、長年親しまれてきたHi-Fiステレオスピーカーの音質と音場再現性、ワイヤレス伝送技術を駆使した快適な設置性を共存させている新機軸のスピーカーである。

最近ではバータイプや台座タイプが多いため、今では左右セパレート構成である横置きスタイルは新しい提案だ。置き方の自由度を高めることができ、大型テレビとの組み合わせも相性がよい。実際に55V型テレ

開発者の声

小さくても音に妥協はありません

リビングにHi-Fiスピーカーやアンプを置きたくてもスペースがないお客様のために、小型高音質のセパレート型スピーカーは個人的にずっとつくりたい



ソニービデオ&サウンドプロダクツ株式会社
V&Sプラットフォーム開発部門
サウンドシステム開発部
宮田 耕自氏

と思っていた商品でした。過去にHi-Fiスピーカーを設計した経験を活かして、小さくても音に妥協のない商品に仕上がりました。是非Hi-Fiスピーカー譲りの自然でダイナミックな音の広がりをお楽しみください。

びと組み合わせたが、左右のアクティブスピーカーへの音楽信号の伝送は全てワイヤレスなので、配線に縛られない快適さは何よりだ。また、左右スピーカー間の距離を大きくすることで、音場のスケール感も増す。例えば映画の場合、広がりのある音場が現れ、効果音の移動もダイナミックで臨場感が高まる。また、セリフが画面中央、言い換えると俳優の口元にピタッと定位するなど、映画館の雰囲気も味わえる。さらに、コンパクトな見た目を裏切る重低音が圧巻。サッカー中継では、スタジアム特有の地鳴りのような響きを体感でき、薄型テレビのスピーカーでは再現できていない音があることに気付かされた。

もちろん、こうした音響体験も、重低音を誇張したものではなく、音質を真面目に突き詰めた成果であるのが好ましい。左右のスピーカーは、それぞれ単体で音楽を高品位に再生する能力を持ち、ハイレゾネットワーク再生を行っても、オーディオコンポに近い素直な高音質が楽しめる。ドライバーユニット、アンプ、電源回路など、細部に渡ってソニーのこだわりと技術が詰め込まれているのだ。テレビ、映画、音楽の音を、特等席で高品位に。本物を知るユーザーにお薦めしたい、本格派モデルだ。

For Living



For Dining
For Kitchen



映画も音楽も
ラジオも高音質

テレビの音は
手元でもいい音

MusicCast



全ての操作は
スマホで



スマホアプリ
「MusicCast
CONTROLLER」
無料
※iOS/Android対応



ハイレゾで
集中する時間を

音楽と一緒に
目覚める

For Private Room



For Bed Room



ヤマハ「MusicCast」のある家 シェアする音楽

テレビドラマや映画でも劇中歌がある様に、音楽の違いで雰囲気は大きく変わります。
「MusicCast」と一緒に生み出す音楽のある暮らしは、普段の生活をプレミアムなものにしてくれます。

取材・文／海上 忍

「MusicCastのある暮らし」を楽しめる製品



ホームシアターパッケージ

Yamaha MUSICCAST-P306

¥OPEN ▶投票 No.036

SPEC <サウンドバー> ●主な搭載機能:BluetoothVer.2.1+EDR(AAC/SBC)、Wi-Fi、ハイレゾ再生(ワイヤレス ※スピーカーは非対応)、デジタル音声入力(光/同軸)、アナログ音声入力(RCA) ほか ●外形寸法:950W×72H×131Dmm ●質量:4.9kg <WX-010> ●主な搭載機能:BluetoothVer.2.1+EDR(AAC/SBC)、Wi-Fiほか ●外形寸法:120W×160H×130Dmm ●質量:1.7kg

ワイヤレスストリーミングアンプ+スピーカーシステム

Yamaha WXA-50 + NS-B330

¥69,000(税抜/WXA-50)、¥43,000(税抜/ペア/NS-B330) ▶投票 No.037

SPEC <WXA-50> ●主な搭載機能:BluetoothVer.2.1+EDR(AAC/SBC)、Wi-Fi、ハイレゾ再生(ワイヤレス/USB-A入力)、デジタル音声入力(光)、アナログ音声入力(RCA) ほか ●外形寸法:214W×51.5H×251.4Dmm ●質量:1.94kg <NS-B330> ●最大入力:120W ●再生周波数帯域:55~45,000Hz(-10dB) ●外形寸法:183W×320H×267Dmm ●質量:6.1kg(1台)

音楽の力でいつもの日常を彩りのあるものに

音楽は、日々の生活に律動と潤いを与えてくれる。だから家のどこにいても心地よく音楽を聴きたい、そんな望みを叶えてくれる新しい音楽スタイルがヤマハの「MusicCast(ミュージックキャスト)」だ。

MusicCastは、家庭内にあるネットワークを介してオーディオ機器を網状につないでくれる機能のこと。対応するサウンドバーやCDレシーバーなどをWi-Fiに接続すれば、聴きたい音楽を指定したオーディオ機器で再生してくれるのだ。操作は専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」を使い、BluetoothはもちろんPCやNASにある音楽ファイルの再生も簡単に行える。インターネットラジオの「vTuner」や、エリアフリーで楽しめる「radiko.jp」も対応するなど、音楽を家じゅうでBGMのように流し続けるのに最適なのである。

さまざまな音源を各部屋に配信できるのもポイントだ。例えば書斎にあるCDレシーバーの音を、リビングのサウンドバーや子ども部屋のワイヤレススピーカーで聴くのは造作もないこと。配信側・受信側の機器が対応していれば、DSDやFLACなどのハイレゾ音源も再生できる。入力切り替

えはアプリから指示でき、離れた部屋まで出向く必要もない。

そんなMusicCastのある暮らしとは、どんなものだろうか。例えば、忙しい朝に「radiko.jp」を再生すれば、クリアな音で情報を入力できるし、午後の昼下がりにインターネットラジオを使いゆったりとしたBGMを流せば、くつろぎのカフェタイムを過ごせる。一方、同時再生機能も有るので、リビングにあるテレビの音をキッチンのワイヤレススピーカーで聴く、といった使い方も余裕でこなす。炊事の音でテレビの音が聴こえにくい奥様が、寂しい思いをすることも少なくなる。

初めてMusicCastを導入するならば、LDKで使ってほしいサウンドバーとワイヤレススピーカー「WX-010」がセットになった「MUSICCAST-P306」がシンプルで使いやすくお薦めだ。ハイレゾ再生を狙うのであれば、コンパクトながらDSD 5.6MHzに対応したワイヤレスストリーミングアンプ「WXA-50」と、ハイレゾ再生に対応したブックシェルフスピーカー「NS-B330」の組み合わせが音質も使い勝手もいい。このシステムなら部屋じゅうをHi-Fiサウンドで満たしてくれるはずだ。

が毎日を変える

MusicCast特設サイト

<http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/musiccast/>

Bose

SoundLink® Mini Bluetooth® speaker II

¥25,000 (税抜) ▶投票 No.040 Bluetooth

SPEC ●主な搭載機能:Bluetooth、ハンズフリー通話、アナログ音声(ステレオミニ)ほか ●外形寸法:180W×51H×59Dmm ●質量:670g ●お問い合わせ:ボーズ ☎0570-080-021



限定カラー

小型筐体から 驚きの低音再生

Bluetoothスピーカーでロングランを続ける人気モデル。その理由は670gの軽量設計・小型サイズのボディからは想像を超える重低音を再生できるというサウンドコンセプトだ。小型の筐体にフルレンジスピーカーとウーファーを内蔵したボーズ流のサウンドチューニングは、バワフルに空気を振動させる重低音でEDM音楽にはベストマッチ。ポータブルサイズ以上の低音再生を求めるなら、ボーズが定番のトップモデルだ。

●音質傾向表

重低音	●●●●●	中高域	●●●●●
広がり	●●●●●	まとまり	●●●●●
J-POP/ROCK	★★★★★		
JAZZ/CLASSIC	★★★★★		
EDM	★★★★★		

Sony

SRS-XB3

¥OPEN ▶投票 No.041 Bluetooth LDAC

Bluetooth LDAC

SPEC ●主な搭載機能:BluetoothVer.3.0(LDAC/AAC/SBC)、NFC、IPX5、ハンズフリー通話、イコライザー機能、スマホ給電、アナログ音声(ステレオミニ)ほか ●ユニット構成:48mmフルレンジ×2、バッシブラジエーター×2 ●外形寸法:約211W×80H×83Dmm ●質量:約930g ●お問い合わせ:ソニー ☎0120-777-886



ソニーの設計思想が 小型ボディに凝縮

Bluetoothスピーカーのトップ級ブランドであるソニー。コンパクトサイズながらも大音圧とパンチの効いた低音で人気のモデルが「SRS-XB3」だ。48mmのフルレンジスピーカーとデュアルバッシブラジエーター、デジタルアンプ「S-Master」とソニーが開発した高音質設計が随所に投入されていることが魅力だ。EDMの音源はディープな重低音に加え、ボーカルの声の帯域も鮮烈な立ち上がりで、音の奥行きも作り出す実力派だ。

●音質傾向表

重低音	●●●●●	中高域	●●●●●
広がり	●●●●●	まとまり	●●●●●
J-POP/ROCK	★★★★★		
JAZZ/CLASSIC	★★★★★		
EDM	★★★★★		

JBL

JBL FLIP3

¥OPEN ▶投票 No.042 Bluetooth

SPEC ●主な搭載機能:BluetoothVer.4.1、IPX5、ハンズフリー通話、アナログ音声(ステレオミニ)ほか ●ユニット構成:フルレンジ×2、バッシブラジエーター×2 ●外形寸法:約169W×64H×64Dmm ●質量:450g ●お問い合わせ:ハーマンインターナショナル ☎0570-550-465



場所を選ばない パワフルな重低音

米国の名門スピーカーブランドから今やワイヤレススピーカーの人気ブランドの一角として名を馳せるJBL。「JBL FLIP3」は音響工学に基づいたチューブ型のデザインと多彩なカラーバリエーションが特長のコンパクトスピーカーだ。独自開発の40mmのドライバーとデジタルスピーカーが搭載され、360度どこから聴いても自然な音の広がりと、迫力のある重低音を再生。キャリングポーチも付属し、外に出したい一台だ。

●音質傾向表

重低音	●●●●●	中高域	●●●●●
広がり	●●●●●	まとまり	●●●●●
J-POP/ROCK	★★★★★		
JAZZ/CLASSIC	★★★★★		
EDM	★★★★★		



Monster

SoundStage S3

¥OPEN ▶投票 No.043 Bluetooth WiFi CERTIFIED

SPEC ●主な搭載機能:Bluetooth、Wi-Fi、NFC、microUSB給電、スマホ給電機能、デジタル音声入力(光)、アナログ音声入力(ステレオミニ)ほか ●外形寸法:約406W×191H×102Dmm ●お問い合わせ:完美電気 ☎050-3388-6838

●音質傾向表

重低音	●●●●●	中高域	●●●●●
広がり	●●●●●	まとまり	●●●●●
J-POP/ROCK	★★★★★		
JAZZ/CLASSIC	★★★★★		
EDM	★★★★★		

エネルギッシュな迫力のサウンド

ヘッドホンブランドとしても有名なMonsterが放つ、新感覚のワイヤレスコンボが「SoundStage S3」だ。最大の特徴は本体にWi-Fi機能を活かしたストリーミングの音楽配信に対応し、Spotifyなども楽しめる点だ。光デジタル入力搭載で入力端子も豊富だ。実際のサウンドを聴くと余裕たっぷりの重低音のビートと共に、高域をキレイよく鳴らす派手なサウンド。エネルギッシュに最新の音楽に浸りたい人にピッタリだ。



B&O PLAY

BeoPlay A2

¥45,278 (税抜) ▶投票 No.044 Bluetooth

SPEC ●主な搭載機能:Bluetooth Ver.4.0(aptX、SBC)、スマホ給電、アナログ音声(ステレオミニ)他 ●ユニット構成:トワイター×2、ミッドレンジウーファー×2、バッシブラジエーター×2 ●外形寸法:256W×142H×44Dmm ●質量:約1.1kg ●お問い合わせ:完美電気 ☎050-3388-6838

●音質傾向表

重低音	●●●●●	中高域	●●●●●
広がり	●●●●●	まとまり	●●●●●
J-POP/ROCK	★★★★★		
JAZZ/CLASSIC	★★★★★		
EDM	★★★★★		

洗練されたデザインとクリアなサウンド

インテリアデザイナーのセシリエ・マンツが手がけた優美なフォルムのBluetoothスピーカーだ。ソリッドなデザインを引き立てるアルミニウムボディは、耐衝撃性能と音質の安定性にも役立っている。また、ショートストラップレザがあるおかげで壁にかけて使うこともでき、360度全方向に広がる「True360オムニディレクショナルサウンド」と相まって、良質な低音と透明感を持った中高域を部屋中に届けてくれる。



◀ 抽選で豪華賞品が当たるプレゼントアンケートはこちら!

あなたにぴったりのスタイルはどれ？

Hi-Res
AUDIO

ハイコンポで ハイレゾをはじめる S T Y L E

ハイレゾを楽しむなら、ハイレゾ再生に対応したハイコンポがオススメ。
ハイコンポなら、省スペースでも置いて“いい音”で楽しめる。しかも、機能性も抜群。
ここでは、ハイレゾサウンドを満喫できるハイコンポの3つのスタイルを紹介していきたい。

STYLE
1

一体型コンポ

コンポひとつで
すぐ楽しめる!!

Aurex
TY-AH1000

¥OPEN



最も手軽に導入しやすいスタイル

「一体型コンポ」とは、ワンボディのなかに、ハイレゾ再生のほか、CDプレーヤーやBluetoothによるワイヤレス再生、ラジオなど、機能をふんだんに詰め込んだハイコンポのスタイル。なかには、家のどこにでも持ち運んで使えるアイテムも。一台で完結するので、手軽にはじめられ、お求めやすい価格でハイレゾを楽しみたいビギナーにオススメです。

こんな方にオススメ

- 低予算ですぐにはじめたい
- 操作はなるべく簡単な方がいい

STYLE
2

セットコンポ

一体型よりも
もっといい音を

Onkyo
X-NFR7TX

¥OPEN



音もデザインもバランスよし

コンポ部とスピーカーをセットで販売しているハイコンポは、各機器を個別に選ぶことなく、一段上の高音質を楽しみたいユーザーにオススメです。また、メーカーがトータルバランスを考慮して設計しているので、音のまとまりがよく、安心感も高いのがメリット。また、ルックス面においてもトータルでデザインされているので、セットで揃えれば統一感が出せる。

こんな方にオススメ

- 一体型よりもっといい音で楽しみたい
- トータルバランスがよいものがほしい

STYLE
3

単体コンポ

組み合わせを
選べる楽しさ!!

MARANTZ
M-CR611

¥70,000(税抜)



オーディオの醍醐味を味わえる

アンプ内蔵のコンポーネントのみの「単体コンポ」は、ユーザー自身でスピーカーとの組み合わせや、各コンテンツを再生する専用機を自由に選べる。好みの音質を追求でき、オーディオの醍醐味を味わうことができる。また既にお持ちのスピーカーとの組み合わせも可能。少々難易度は高いが、ハイレゾを楽しみ尽くしたいなら、挑戦してみてください。

こんな方にオススメ

- 手持ちのスピーカーを活かしたい
- 自由に組み合わせを選びたい



Lineup

ネットワークレシーバー

ONKYO
R-N855

¥88,000 (税抜)



CDプレーヤー

ONKYO
C-755

¥47,000 (税抜)



スピーカーシステム

ONKYO
D-212EXT

¥71,000 (税抜/ペア)





INTEC

ハイレゾ時代に 復活!!

ハイコンボのレジェンドと呼べる
オンキヨーのコンポーネントシリーズ「INTEC」。
いつの時代も音楽を楽しむための
本質を突き詰めたモデルをユーザーに届けてきた。
そのINTECが、ハイレゾ時代に打ち出す最新モデルに迫る。
文／鴻池賢三

「INTEC」が新たに打ち出す“本物”

時を遡ること約20年。ハイコンボと呼ばれるコンパクトな高級オーディオが一世を風靡した。その中でも、レジェンドと呼べる存在が、オンキヨーの「INTEC」シリーズだ。フルサイズオーディオの音のクオリティ、デザインと質感を妥協することなく凝縮しつつ、リモコン制御を応用した独自のIRと呼ぶ連携システムによって、誰もが使いこなせる操作性も確保。オーディオ専門の老舗メーカーがより多くの人々に「よい音と感動を届けたい」という情熱と、本質を突き詰めたコンセプトが支持を得たのだ。INTECは決して急がない。新しいフォーマットが登場すれば深く洞察を重ね、本質を体現できるまで技術の熟成を待つ。ユーザーが真に喜びを感じ、長く使い続けられる普遍性もまた、INTECが本物である理由だ。歴史を紐解けば、INTECの起源はMDの登場にはじまる。MDが登場した1992年から2年後、フルサイズオーディオに限りなく近いクオリティを備える「INTEC 275シリーズ」(幅275mm)と、スペースコンシャスな「INTEC 205シリーズ」(幅205mm)をリリース。その後、よりコンパクトな「INTEC 185シリーズ」を、DVD登場時には、オーディオシステムでありながら果

敢にも5.1chにチャレンジするなど、新しいライフスタイルの提案にも取り組んできた。2005年には、Hi-MDによる非圧縮のデジタル記録メディアを取り込むと同時に、デジタルアンプを採用。独自技術「VL Digital」を引っ提げ、デジタル時代における高音質を世に問った。

以降、フォーマットの定着やライフスタイルの変化と共にINTECシリーズは休止していたが、時は流れ、オーディオには新たに「ハイレゾ」が加わった。オンキヨーはいち早くハイレゾ配信サイト「e-onkyo music」を立ち上げ、黎明期から約10年間も温めてきたハイレゾの立役者である。そんな同社が、今改めて高らかに復活を宣言する「INTEC」は、ハイレゾが市民権を得て、機が熟したという事に他ならない。

フォーマットの進化が落ち着き、ハイレゾ、ネットワーク再生時代に重要な要素も見えてきた。ハイレゾの本質を見極め、外観、音質、機能性を磨き上げたのが、新「INTEC」なのだ。過去のINTECを知るユーザーにはもちろん、本物を知りうるミドルエイジ、ピュアオーディオ入門者まで、幅広いユーザーを受け入れる懐の深さも請け合いた。

ネットワークレシーバー

ONKYO R-N855

¥88,000(税抜) ▶投票 No.047

SPEC●定格出力:70W+70W(4Ω) ●対応サンプリング周波数/量子化bit数:192kHz/24bit(PCM)、11.2MHz/1bit(DSD) ●接続端子:デジタル音声入力(光×1、同軸×1)、アナログ音声入力×3、ヘッドホン出力×1、USB×2、LAN×1 他 ●外形寸法:275W×87.7H×283.2Dmm ●質量:6.1kg



Profile

ハイレゾも鮮度豊かに鳴らしきる

アルミ素材を活かした重厚かつ柔らかみのあるデザインで、デザインインテリアと組み合わせても馴染む質感豊かな外観が目を引く「R-N855」は、オンキヨーが高級オーディオで培った技術を凝縮したネットワークレシーバーだ。高いグレードのパーツを各所に取り入れつつ、「VL Digital」、「VLSC」といったデジタルサウンド技術を導入し、ハイレゾ再生でも高品質な音を楽しめる、こだわりの強い作り込みが施されている。

192kHz/24bit(PCM)、11.2MHz/1bit(DSD)など、幅広いハイレゾの音声フォーマットに対応し、ネットワークやUSBメモリーでの再生の他に、外付けHDDからも再生できるなど、ハイレゾ再生に対して万全な仕様だ。もちろんBluetoothやAirPlayなど、モバイル端末との連携機能も搭載している。

実際にそのサウンドを聴いてみると、余裕のある駆動力でスピーカーをしっかりと鳴らしきる。アナログライクな温かみにデジタルの鮮度感が足され、瑞々しいサウンドが心地よい。

Detail



重厚かつ 柔らかなデザイン

パネル表面は彫の深い重厚さをもつアルミ加工を施し、ボリュームノブは曲面加工にすることで、柔らかく温かみのあるデザインを模している



独自デジタル技術で クリアに

音声情報に含まれている細かな部分まで正確に引き出す独自のデジタル技術「VLSC」によって、極限までノイズを減らしたクリアなサウンドを奏でる

INTEC's History

1992年にMDが誕生し、その後DVDやHi-MDへと移り変わっていくなか、どの時代も幅広いユーザーに向け、“一歩先のサウンドクオリティ”を味わえるモデルを開発してきた。音楽の楽しみ方に対し先進的な取り組みを続けてきた、INTECの軌跡に触れてみたい。

1994 1996 2000 2005

INTEC 275



MDの登場後に開発された「INTEC 275」と「INTEC 205」は、コンパクトサイズに単品コンポーネントとして本格的な設計を施したモデル。ハイコンボの土台となるシステムが登場した。

INTEC 155



DVD時代に備えて開発された「INTEC 155」は、コンポーネントのサイズを155mmという革新的なサイズ感を叶え、さらに5.1chシステムをパッケージ化。ホームシアターでも小型化と最高のサウンドを実現した。

New INTEC 275



“非圧縮録音”で注目を集めた「Hi-MD」を最高のサウンドで描き切るため、新たにデジタルアンプ「VL Digital」を採用した「New INTEC 275」、「NEW INTEC 205」が登場。ハイレゾ時代のINTECにも繋がる技術が導入されている

INTEC 185



「INTEC 205」の筐体幅205mmを凌ぐ185mmの超コンパクトサイズを実現した「INTEC 185」が登場。MDとの連動など先進のデジタル技術をハイコンボに盛り込んだことも特長だ。

INTEC's Close Up

BluetoothやAirPlayを使えばワイヤレスでスマホやタブレットの中の音楽を、ネットワーク機能を使えばネットワーク対応HDD(NAS)内の音源を再生できるなど、再生方法が豊富。コンポーネントにUSBメモリーや外付けHDDを直接繋いで、ハイレゾ音源を再生することもできる。

音楽の楽しみ方が多彩

Wireless



Network



Media



ハイレゾ配信サイトと連携



「e-onkyo music」

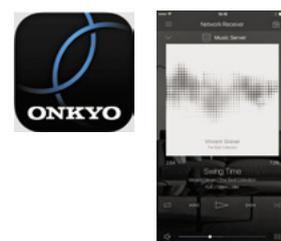
約230,000曲のハイレゾ音源を配信する国内屈指のハイレゾ配信サイト「e-onkyo music」と連携しており、購入したハイレゾ音源を自動でダウンロードできる「e-onkyoダウンロード」機能に対応する



コントロールアプリで簡単操作

「Onkyo Controller」

Android/iOSのスマホやタブレットのコントロールアプリ「Onkyo Controller」を活用すれば、リモコンを使用せずとも直感的で簡単に機器の操作ができる



CDプレーヤー

ONKYO C-755

¥47,000 (税抜) ▶投票 No.048

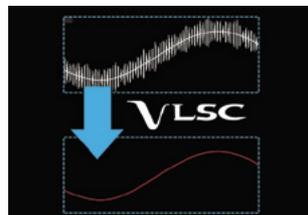
SPEC●周波数特性:5Hz~20kHz ●接続端子:デジタル音声出力(同軸×1)、アナログ音声出力×1他 ●外形寸法:275W×87.7H×283.2Dmm ●質量:3.8kg



Profile

ネットワークレシーバー「R-N855」と同じく、高剛性5mm厚のアルミ製フロントパネルを採用。オンキヨー独自のデジタル回路におけるパルス性ノイズを抑制する「VLSC」回路を搭載し、アナログライクな滑らかな音質を実現。圧倒的な高精度クロック、S/Nに優れた高性能DAC、音質を吟味した大型トランスを擁する強力な電源を採用し、仕立ても音質もCD再生に特化して追求したビュアオーディオグレードのCDプレーヤーだ。

Detail



音楽信号のノイズを低減する「VLSC」機能によって、CDの音楽をさらに忠実に再現する

スピーカーシステム

ONKYO D-212EXT

¥71,000 (税抜/ペア) ▶投票 No.049

SPEC●形式:2ウェイ・バスレフ型 ●再生周波数帯域:37Hz~100kHz ●外形寸法:188W×303H×297Dmm ●質量:6.1kg



Profile

チタンコートを施したリング型トゥイーターは、分割振動に頼らずリニアに20kHzまでの高域再生を実現。最高100kHzの高品位なハイレゾ再生能力を獲得し、ハイレゾ音源が持つ情報量を余す所なく引き出す。ウーファーは5層のコットンと強靱なアラミド繊維のハイブリッド構造を持つオンキヨー独自の「N-OMF」コーンを採用し、固有の音色を持たず音源に含まれる空気感までも量感豊かに引き出す。サイズを超える再現力は圧巻。

Detail



明瞭感が高く、量感が豊かな低域が再現できる完成度の高いユニットを採用している

クオリティと機能美がひとときわ輝く

“本格派”プレミアムシステム

INTERIOR LIST
●サイドボード: フォレス
1800W×1040H×355Dmm
¥369,000(税抜)
以上、すべてIDC OTSUKA



優美なデザインで、トップクラスの機能性と、
確固たる実績を持つオーディオブランドの
本格派サウンドが特長のシステム。
絶大な人気を誇る「M-CR611」ならではの魅力に迫る。
取材・文 / 鴻池賢三

MARANTZ M-CR611

¥70,000(税抜)

SPEC ●定格出力:50W+50W ●対応サンプリング周波数/量子化ビット数:192kHz/24bit (PCM)、
2.8MHz/1bit (DSD) ●接続端子:デジタル音声入力(光×2)、アナログ音声出力×1、ヘッドホン
出力×1、USB×2、LAN×1 他 ●外形寸法:292W×105H×305Dmm ●質量:3.4kg

圧倒的な存在感を放つ“パーフェクト・コンポ”

ハイレゾ音源の登場をきっかけに、アーティストの想いをよりリアリティの
高い“いい音”で楽しみたいというニーズが高まっている。こうした時代を
背景に注目されているのが、クオリティとコンパクトさを兼ね備えたハイクラ
スコンポだ。その中でも今、トップクラスの人気と圧倒的な存在感を放っ
ているのがマランツの「M-CR611」。高級オーディオで実績のあるサウン
ドや美しい外観デザインを踏襲しつつ、CDやラジオといった基本機能に
加え、Wi-Fi&Bluetoothなどのワイヤレス機能、最新のハイレゾ再生もネッ
トワーク&USBメモリーの両方で再生ができるなど、コンパクトなボディに
豊富な機能を凝縮したオールインワンモデルだ。音質の根幹を司るアン
プ部は、オーディオファンも納得のフルバランス・デジタル&バイアンプ仕
様。また、4Ω対応で、低インピーダンス製品が多い海外ブランドの大型
スピーカーも余裕で鳴らし切るドライブ能力を備える。本機は単品で購入
でき、音色に大きく関わるスピーカーは好みに応じて選べるので、趣味性
も満たしてくれる。

世界的スピーカーブランドB&Wの「CM1 S2」を組み合わせるとハイレゾ
音源を聴いてみると、ピアノの旋律は、各音の余韻が混じり合って滲む
ことなく、空間の広さが掴み取れる。余韻のハーモニーが美しく、時間
と共に表情の変化まで楽しめるのもハイレゾの世界。奥行きが広いス
テージに楽器が精密に配置され、オーケストラが目の前に浮かぶようだ。
オーディオファンも頷く優れたサウンド、先進的な機能性、快適な操作など、
どこを取っても非の打ち所がないモデルだ。M-CR611は、その人気の
高さも納得できる“パーフェクト・ハイコンポ”としてお薦めしたい。

■写真の組み合わせ



MARANTZ M-CR611

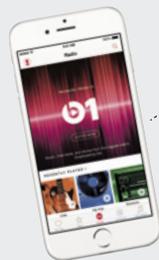
ネットワークCDレシーバー
¥70,000(税抜) ▶投票 No.050



B&W CM1 S2

スピーカー
ピアノブラック ¥140,000(税抜/ペア)
ローズナット ¥128,000(税抜/ペア)
▶投票 No.051

-Close Up-



スマホの音楽を
Bluetoothで



ハイレゾ再生が
USBで手軽に

ワイヤレス機能ではBluetoothやAirPlay、
USBメモリーやネットワーク環境からのハイレゾ
再生など、対応するコンテンツが豊富。

-Special Review-

自由にスピーカーを
組み合わせられる



DALI ZENSOR 1

スピーカー
¥43,800(税抜/ペア)
ライトウォールナット/ブラックアッシュ
▶投票 No.052

女性ボーカルの音源では、ボーカルが空間に
浮かび上がり、生々しさの高さが印象的。ピア
ノのアタックは力強く、弦楽器は響きがふくよか
で、アコースティックが楽曲の真髄を楽しめる。

Aurex TY-AH1000

¥OPEN ▶投票 No.053 Bluetooth Hi-Res Audio

SPEC ●主な搭載機能:ラジオ、CD/USBメモリー/SDカード再生、Bluetooth Ver.3.0(SBC)、アナログ音声(ステレオミニ)、USB-DAC機能 ほか ●再生周波数帯域:60~40,000Hz ●最大対応サンプリング周波数/量子化ビット数:96kHz/24bit ●入力端子:マイクロUSB×1、ステレオミニ×1 ●外形寸法:400W×135H×205Dmm ●質量:約3.2kg



リビングでも



寝室でも

INTERIOR LIST <写真左> ●チェスト/ノラ90オイル 900W×824H×400Dmm ¥69,167(税抜) <写真右> ●ヘッドボード ウォール ¥218,000(税抜) ●引出ボックス ウォール ¥64,500(税抜) ※マットレス別売 以上、すべてIDC OTSUKA

オーレックスなら ハイレゾも“かんたん”“いい音”

家中どこでも持ち運べて快適

「ハイレゾを聴いてみたいけど、何からはじめていいかわからない…」。
そんな方にオススメなのが、Aurex(オーレックス)の「TY-AH1000」。
CDラジオという馴染みのスタイルで、手軽にハイレゾを楽しめる、いま注目のモデルだ。

取材・文/神原サリー
(家電コンシェルジュ)

いい音が身近にあると暮らしは豊かに

70年代に一世を風靡した東芝のオーディオブランド「オーレックス」が復活した。新生オーレックスの第一弾となるのが、臨場感のある音を気軽に楽しめる「TY-AH1000」だ。ルックスは馴染みのあるCDラジオ。天面に操作ボタンが配置され、誰でも思いのままに手繰れるのがいい。ボタンはすべて日本語表示なのでわかりやすく、CDの挿入も天面中央のふたを開けて行なう仕様だ。そして、CD音質をはるかに超えたハイレゾにも対応している。とはいえ、難しい設定は不要。ハイレゾ音源をSDカードやUSBメモリー経由で手軽に楽しむことができるのだ。

実際にハイレゾ音源のクラシックを再生してみると、コンパクトなのに厚みのある荘厳な音が広がって感動の一言。それを味わい尽くしたくて、思わず目をつむってしまったほどだ。ふと目を開けると、本体中央部のレベルメーターの右に「Hi-Res」ランプが表示されているのが見える。ハイレゾ再生の証がうれしい。取っ手付きで手軽に持ち運べるのも魅力だ。リビングや書斎の定位置はもちろんのこと、寝室やダイニングもTY-AH1000があれば、あっという間にコンサートホールに様変わりする。「いい音」が近くにあることでこんなに豊かになるとは。さあ、次はどの曲を聴こうか。昨日とは違った新しい毎日がはじまるはずだ。

かんたん

難しい操作は不要なし!
手軽にハイレゾを楽しめる



ハイレゾを再生するには、音源の入ったUSBメモリーやSDカードをポートに挿し込むだけ。PCのなかの音源も、USBケーブル経由で楽しめる。面倒な手間は必要ない。



いい音

総合出力50Wを実現!
小型なのに迫力のサウンド

高域用のツイーターと中低域用のウーファーを、個別のデジタルアンプで駆動。総合出力50Wというハイパワーで、低音から高音まで迫力のある音を実現する。



ハイレゾ聴くならコレ!
厳選ハイコンボ

一体型
コンボ

Aurex TY-AH1000

¥OPEN    ▶投票 No.054

SPEC ●ユニット:20mmトワイター×2、80mmウーファー×2 ●最大対応サンプリング周波数/量子化ビット数:96kHz/24bit ●入力端子:USB-A×1、SDカードスロット×1、マイクロUSB×1(PC入力) ●外形寸法:400W×135H×205Dmm ●質量:約3.2kg ●お問い合わせ:東芝エリートレーディング ☎0120-28-0488

ラジカセの外観にハイレゾの機能搭載

「ラジカセ」の親しみやすい雰囲気を残しつつ、ハイレゾ対応を筆頭に最新機能を採り入れたユニークな製品。中高年世代がかつて憧れたHi-Fiオーディオの名門「Aurex」(オーレックス)ブランドを冠し、音質にこだわった設計も注目ポイント。機能面では、CD再生やラジオ受信に加え、USBメモリーやSDカードに収めたハイレゾ音源の再生が可能と多才。さらにPCのUSB接続やスマホの音を手軽にワイヤレスで鳴らせるBluetooth接続機能も搭載するなど、1台で何役もこなす万能モデルだ。実際に使用してみると、ラジカ



セ風のスタイル通り、昔ながらの感覚で操作できるので、機械が苦手なユーザーにも取っ付きやすい。軽量で握りやすいハンドルを備え、持ち運んでの移動も楽々だ。音質は見た目以上に本格的なもの。厚みのある堂々とした低域、気持ちよく伸びる高域、素直で色付きのないボーカルが心地よく響く。誇張なくハイレゾのふわっとした空気感も楽しめる上質さを備え、気持ちよく長時間浸れる優しいサウンドで、クラシックやジャズの本格的な鑑賞にもお薦めしたい好製品だ。(鴻池賢三)

一体型
コンボ



PANASONIC SC-RS75

¥OPEN    ▶投票 No.055

SPEC ●ユニット:40mmトワイター×1、65mmフルレンジ×1 ●最大対応サンプリング周波数/量子化ビット数:192kHz/24bit ●入力端子:USB-A×1、LAN×1 ●外形寸法:450W×107H×245Dmm ●質量:約3.4kg ●お問い合わせ:パナソニック ☎0120-878-982

華麗なデザインと最新のメディアが融合

流麗なデザインが目を引くが、CD再生はデジタル5チェンジャー機能に対応でユニークである。お気に入りのCDを本体に5枚録音でき、再生時はボタン操作だけで呼び出せる。ハイレゾは、Wi-Fiを含むネットワーク再生ほか、USBメモリーにも対応し、入門ユーザーから本格的に使用したいユーザーまで柔軟に対応する。音質面では、コンパクトなボディからは想像できない朗々とした鳴りっぷりが魅力で、リラックスして楽しめる。繊細で煌びやかな高域も楽しく、ボーカルの息遣いがリアルに伝わる。Bluetooth接続の音質も上々で実用的。音質、スタイル、機能美が融合した、新時代オーディオの登場だ。(鴻池賢三)

セット
コンボ



Sony CMT-SX7

▶投票 No.056

¥OPEN      

SPEC <アンプ部> ●入力端子:USB-A×1、USB-B×1、LAN×1、光デジタル×1、RCA×1 ●最大対応サンプリング周波数/量子化ビット数:192kHz/32bit ●外形寸法:約225W×115H×263Dmm ●質量:約2.7kg <スピーカー部> ●外形寸法:約145W×245H×225Dmm ●質量:約3.5kg(1台) ●お問い合わせ:ソニー ☎0120-777-886

“ほしい”機能を網羅した万能コンボ

コンパクトな本体に、CD再生やラジオ受信といった馴染みの機能はもちろん、PC接続、USBメモリー再生、Wi-Fi機能も備えたネットワーク再生など、考え得る機能が「全部あり」の安心感がうれしい1台。AirPlayも備え、iPhoneをはじめとするiOSデバイスとの相性もよい。アプリ「SongPal」を利用すれば操作が格段に向上し、スマホ世代にピッタリといえる。音質は、均整の取れた真面目な音作りでジャンルを選ばない。特にスピーカーはコンパクトながら充分な重量が与えられ、ガッチリとした作りも頼もしい。本体のアンプとトータルで音質を高めた傑作で、セットコンボならではのメリットを感じる優秀モデルだ。(鴻池賢三)

単体
コンポ



PIONEER XC-HM86

¥OPEN Bluetooth WiFi

▶投票 No.057

SPEC ●定格出力:65W+65W ●最大対応サンプリング周波数/量子化ビット数:192kHz/24bit (PCM)、11.2MHz/1bit (DSD) ●入力端子:USB-A×2、LAN×1、光デジタル×1、RCA×1 ●出力端子:ステレオミニ×1、サブウーファーアウト×1 ●外形寸法:約290W×98H×333Dmm ●質量:約3.5kg ●お問い合わせ:オンキヨー&パイオニアマーケティングジャパン ☎050-3388-9425

ボーカルをリアルに表現する

ハイレゾファイル再生の使い勝手を追求した高品位なネットワークCDレシーバー。市販のUSBへHDDを接続するとスマホやタブレットで購入したハイレゾ配信サイト「e-onkyo music」の音源を直接ダウンロードでき、PCレスでの運用が可能。本体前面に大型で高精細な液晶パネルを搭載しているのも特徴で、音楽を一覧表示しての選択、ジャケット画像の表示もできる。音質はパイオニアのスピーカー「S-HM86」と組み合わせて確認。透明感溢れる繊細さで、特に女性ボーカルと相性が良い。口元が見えるかのようなリアリティ。厳選されたパーツの採用などオーディオとして高いクオリティを備え、気軽にワンランク上の音が楽しめる好モデルだ。(鴻池賢三)

単体
コンポ



Yamaha CRX-N470

¥58,000(税抜) Bluetooth WiFi AirPlay dlna

▶投票 No.059

SPEC ●定格出力:18W+18W ●最大対応サンプリング周波数/量子化ビット数:192kHz/24bit ●入力端子:USB-A×1、LAN×1、RCA×1、アナログ音声(ステレオミニ)×1 ●出力端子:ヘッドホン×1、サブウーファーアウト×1 ●外形寸法:約270W×110H×330Dmm ●質量:約3kg ●お問い合わせ:ヤマハミュージックジャパン ☎0570-011-808

透明感と広がりのある美しいサウンド

ハイレゾネットワーク再生ほか、話題の機能を凝縮したオールインワンシステム。専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」は、NASに入れた音源ファイルをジャケット画像付で一覧表示ができ、スクロール表示もスピーディーな優れもの。オリジナルのネットワーク機能「MusicCast」に対応した製品との間で配信ができるのもヤマハならではの機能美。音質はヤマハのスピーカー「NS-BP182」を組み合わせて確認。トータルで高域の解像度が高く、ヤマハ製品に共通する透明感ある美しいサウンドだ。ギターが奏でる一音一音に心を動かされ、倍音のハーモニーが空間をコンサートホールに変えてくれる。アコースティックライブやクラシックの臨場感を満喫しよう。(鴻池賢三)

単体
コンポ



Onkyo NFR-9TX

¥OPEN Hi-Res Audio Bluetooth

▶投票 No.058

SPEC ●定格出力:19W+19W ●最大対応サンプリング周波数/量子化ビット数:96kHz/24bit ●入力端子:USB-A×1、USB-B×1、光デジタル×1、SDカードスロット×1、RCA×2、アナログ音声(ステレオミニ)×1 ●出力端子:ステレオミニ×1、RCA×1、サブウーファーアウト×1 ●外形寸法:215W×142H×357Dmm ●質量:4.8kg ●お問い合わせ:オンキヨー&パイオニアマーケティングジャパン ☎050-3161-9555

小型ボディながらパワフルなサウンド

デスクトップ用途に収まりのよいコンパクト設計。USB-DAC機能を搭載し、PCオーディオも楽しめる。特筆すべきは録音機能で、CD、ラジオ、外部入力音声をSDカードやUSBメモリーに記録可能。上級オーディオの設計思想を採り入れた音質や美しい外観もオンキヨーならではの仕上がりが。音質はオンキヨーのスピーカー「D-NFR9TXD」を組み合わせて確認。パワフルで温かみのある音調はHi-Fiライクで、このスタイルのオーディオとしては珍しい存在だ。ウッドベースが生み出すリズム感は官能的で、ジャズ愛好家にもお薦めしたい。オーディオ要素をシンプルにしたセットコンポ「X-NFR7TX」もラインアップする。(鴻池賢三)

単体
コンポ



NUPRIME IDA-8

¥130,000 Hi-Res Audio

▶投票 No.060

SPEC ●定格出力:100W+100W ●最大対応サンプリング周波数/量子化ビット数:384kHz/32bit (PCM)、11.2MHz/1bit (DSD) ●入力端子:USB-A×1、USB-B×1、光デジタル×1、同軸デジタル×1、RCA×1 ●出力端子:サブウーファーアウト×1 ●外形寸法:235W×55H×281Dmm ●質量:4.3kg ●お問い合わせ:フューレンコーディネート ☎0120-004-884

ワンランク上を実現する高品位コンポ

DSD11.2MHz、PCM384kHzなど、最新のハイレゾフォーマットに対応し、最高峰のスペックを誇るUSB-DAC機能を備えたプリメインアンプ。PCと組み合わせ、デスクトップでシンプルかつ美しいオーディオが完結する。本体はハイエンドオーディオの品格が漂う美しい佇まいで、インテリアをワンランクアップさせる存在感も魅力。音質はCelsus Soundのスピーカー「SP One」を組み合わせ確認。ハイエンドと呼ぶにふさわしいリッチな音調で、静寂を表現できる基礎能力、有機的な美しさを表現できるアンプの完成度は圧巻。澄み切った空間で柔らかな音に包まれる快感は本物で、単品大型コンポに親しんだ本物を知る世代も納得の高品位モデルだ。(鴻池賢三)



iMacと親和性抜群の
Bluetoothスピーカー

INTERIOR LIST ●デスク:カルラ 1500W×720H×550Dmm ¥150,926(税抜) ●フゴン:カルラ 450W×650H×450Dmm ¥64,630(税抜) ●チェア:アーロンチェア 675W×910H×600Dmm ¥216,000(税抜) ※メーカー希望小売価格以上、すべてIDC OTSUKA

SoundFidelity 590i

「Macのようなシンプルでミニマムなデザインのスピーカーがほしい」。そんなあなたにぴったりのBluetoothスピーカーが「Sound Fidelity 590i」。洗練されたデザイン、シームレスな使い勝手。すべてがiMacと親和性抜群!

文／編集部



シルバー

見た目も使い勝手もシームレス

パーフェクト。SOUND FIDELITY(サウンド・フィデリティ)のBluetoothスピーカー「590i」を目の前にすると、思わずそう呟きたくなる。フィンランドのデザイナーによる洗練された外観は、スピーカーというよりもインテリアのひとつだ。それもそのはず。熱狂的なファンの多いiMacとの組み合わせを想定してデザインされているからだ。Macらしさの根幹は、シンプルさの追求と高いユーザビリティの追求にあるが、それをBluetoothスピーカーで再現したのが「590i」である。アルミ合金を切削して製造されるフロントパネルは、iMacと同様に継ぎ目のないシームレスなデザインを採用。右端にあるタッチパッドコントロールで直感的な操作が行える点も、iMacの世界観を体現しているといえる。4色のカラーバリエーションもiPhone7との親和性を意識しているように感じられる。

しかし、これだけスタイリッシュなデザインながら、音質にも手抜きはない。Bluetooth接続には、高音質で定評のあるaptXにも対応。パッシブラジエーターを2基搭載しており、低音もしっかり効かせてくれる。

デスクトップで音楽を楽しむ時間をプレミアムなものに変えてくれる、大人のためのコンパクトオーディオだ。

SOUND FIDELITY Sound Fidelity 590i

¥OPEN ▶投票 No.061 Bluetooth

SPEC ●主な搭載機能:BluetoothVer.4.0(aptX、SBC)、アナログ音声入力(ステレオミニ)ほか ●ユニット構成:フルレンジ×2、パッシブラジエーター×2 ●最大出力:12W ●外形寸法:590.6W×63.1H×103.3Dmm ●質量:1.1kg



ブラック



ゴールド



ピンク

- Detail



研ぎ澄まされたミニマムデザイン

アルミ削り出し合金を採用したフロントパネルは、iMac同様、継ぎ目が目立たないデザイン。その金属的な質感をたたえたルックスは、緩やかに湾曲するシルエットを描いており、これ以上ないほどシンプル!

デスクトップで楽しむ スピーカー&ヘッドホン



デスクトップ環境はとてもパーソナルな空間であり、作品に没入できる空間だ。だからこそスピーカー&ヘッドホンの“いい音”で作品を堪能してほしい。

ここではデスクトップに最適なオーディオシステムの構築術を紹介していきたい。

文／編集部

スピーカーでも!



ヘッドホンでも!

PCの音楽も動画も“いい音”で楽しめる!

PCで楽しめるコンテンツは音楽から動画まで幅広い。近年ではストリーミングサービスの人気も高まっており、音楽では「Spotify」や「Apple Music」、動画では「Netflix」や「hulu」など、多数のサービスを楽しめる。また、より“いい音”を追求する音楽ファンで賑わいを見せている高音質フォーマット「ハイレゾ」もPCで再生できる。そんなさまざまなコンテンツを、パーソナルな空間で楽しめるデスクトップ環境だからこそ、“いい音”に没頭できるシステムで作ってみよう。

PCで楽しめるコンテンツは豊富!

Music



More...

Movie



More...

ハイレゾはCD以上にリアルな音を楽しめる!



デスクトップのベストシステム!



コンパクトオーディオのアイテムを活用して、デスクトップ環境で“いい音”のシステムを構築する場合、ぜひ導入してほしいアイテムが「USB-DAC」だ。USB-DACは、PCとUSBで繋げて使うアイテムであり、ステレオミニなどで接続するよりも、より“いい音”の状態を楽しむことができる。また、アンプ内蔵のUSB-DACは、スピーカー（アクティブスピーカー）やヘッドホンを鳴らすことができるので、このワンアイテムをシステムに加えるだけで、PCのコンテンツを臨場感豊かなでリアリティの高い音で楽しめるのだ。

USB-DAC



便利な機能!

- スピーカーを鳴らせるアンプを搭載
- ヘッドホンアンプを内蔵
- ハイレゾ再生にも対応
- PC周りに置けるコンパクトサイズ
- スピーカー&ヘッドホンの音量調整



組み合わせられるスピーカー&ヘッドホン



スピーカー

USB-DACにアンプが内蔵していれば、通常のスピーカーシステムを接続できる。



アクティブスピーカー

ボリューム調整機能が採用されているUSB-DACは、アンプを内蔵する「アクティブスピーカー」を接続できる。



ヘッドホン

ヘッドホン端子を搭載するUSB-DACなら、密閉型や開放型問わず、ユーザー好みのヘッドホンが組み合わせられる。

GENELEC G One

¥OPEN

▶投票 No.062

SPEC ●型式:2ウェイバスレフ・アクティブ型 ●ユニット:19mmトウイーター×1、76mmウーファー×1
●アンプ定格出力:12W(トウイーター)、12W(ウーファー) ●再生周波数帯域:73~21,000Hz(-3dB)
●入力端子:アナログ音声入力(RCA1) ●外形寸法:121W×195H×114Dmm ●質量:1.4kg(1台)

プリ機能を内蔵したUSB-DAC、
FOSTEX「HP-A8MK2」と組み合わせた例。

INTERIOR LIST ●デスク:ナイン 1350W×735H×550Dmm
¥155,556(税抜) ●チェア:エルゴヒューマンハイブリッドチェア
EH-LAL 665W×965H×660Dmm ¥84,800(税抜)以上、
すべてDC OTSUKA

ジェネレックで発見 いつもの机が ステージに変わる喜び

大きなスピーカーやアンプを置くのが難しい机の上でも、
シンプルな構成で高音質を楽しめるのがジェネレックのアンプ内蔵スピーカー「G One」。
まるで目の前にアーティストが現れたかのような、驚異のサウンドをご堪能あれ! 文/岩井 喬

デスクトップオーディオの悩みを一挙解決

デスクトップオーディオは手軽に音楽が楽しめる一方で、卓上で音が反射して余計な響きが増えたり、設置スペースが広く取れないなど、機材選びの難しさがつきまとう。さらなる高音質を目指し、こうした問題を一挙に解決するのがアンプを内蔵したGENELEC(ジェネレック)の小型アクティブスピーカー、「G One」である。ジェネレックは日本を含め世界各国の録音スタジオやエンジニアから信頼されている、フィンランドのアクティブモニターブランドである。G Oneは長年培われてきたモニターとしての正確なサウンド性に加え、アルミダイキャスト製の堅牢なキャビネット、振動吸収の役割に加え、仰角をつけることができるユニークなインシュレーター「Iso-Pod」、デスクトップ上での反射の影響を抑える「TABLETOP CONTROL」など、プロ機同様に設置場所への対応力の高さも継承。コンシューマー向けに再調整した低域・高域個別のバイアンプを積むこともメリットだ。音響的にも意味を持つラウンドフォルムは欧州の著名なデザイナー、ハッリ・コスキネン氏によるもので、オプションのボリュームユニット「VC9000」の意匠も揃えている。プリ機能を持つUSB-DACと組み合わせ、音量をDAC側で調整すればより一層シンプルに楽しめるだろう。G Oneのサウンドは実直かつ鮮度の高いリアルな傾向で、低域も弾力の効いた締まりのよい表現を持つ。プロ機由来のストレートで付帯感のないクリアなボーカル再現性も魅力のひとつである。

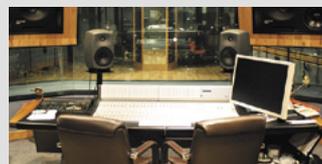
ホワイトモデルも!



ジェネレックはココがスゴイ!

プロに愛されるサウンド

1978年にフィンランドで設立されたジェネレックは、アンプを内蔵したスピーカーを世界でいち早く実用化したブランド。同社のモニタースピーカーは、世界中のレコーディングスタジオで導入されている。



世界中のレコーディングスタジオにジェネレックのアクティブモニターが採用されている。

机面への低音の反射も抑制

背面には、トーンコントロールスイッチを搭載。デスクトップに設置する際には、右端の「TABLETOP」をオンにするのがお薦め。低音がデスク面に反射して増強される際に、その低音成分を弱め、バランスを整えてくれる。



「TABLETOP」をオンにすると、低音成分を-4dB抑制。机面への反射の影響も抑えられる。

デスクトップシステム Pick Up Model

Sony CAS-1

¥OPEN Bluetooth Hi-Res Audio LDAC N 投票 No.063

SPEC [アンプ部] ●実用最大出力:24W+24W ●対応コーデック:LDAC、AAC、SBC ●対応サンプリング周波数/量子化bit数:192kHz/24bit(PCM)、2.8MHz/1bit(DSD) ●端子:USB入力(Aタイプ×1/Bタイプ1)、ヘッドホン出力×1(ステレオミニ) 他 ●消費電力(待機時):約29W(約0.5W) ●外形寸法:約55W×178H×210Dmm ●質量:約1.3kg
[スピーカー部] ●形式:2ウェイ・バスレフ型 ●ユニット:62mmウーファー/14mmツイーター ●周波数帯域:60~50,000Hz ●外形寸法:約95W×178H×172Dmm(1本) ●質量:約1.5kg(1本)



Close Up

Sony MDR-1A

¥OPEN 投票 No.064

新開発の40mm振動板を採用したことで可聴帯域をはるかに超えた100kHz再生を実現した、ソニーのハイレゾ対応ヘッドホン。



こだわりの強いニアフィールドシステム

デスクトップのニアフィールドリスニングに最適なシステム。USB-DACとヘッドホンアンプを内蔵したコンポ部とスピーカーがセットになっている。独自デジタルアンプ「S-Master HX」を軸に、スピーカー用とヘッドホン用のアンプ基板を個別にした新設計の採用により、どちらの出力に対しても最適化を図った音づくりを実現した。スピーカー部は、リスニングポジションに合わせて角度を変更できるスパイクを採用。またスマホやタブレットとワンタッチで接続できる「NFC」やBluetoothでハイレゾ相当の伝送が可能なコーデック「LDAC」にも対応し、機能も充実している。



TEAC HR-S101

¥OPEN Bluetooth Hi-Res Audio 投票 No.065

SPEC [アンプ部] ●定格出力:20W+20W ●対応コーデック:aptX/AAC/SBC ●対応サンプリング周波数/量子化bit数:192kHz/24bit(PCM) ●端子:デジタル音声入力(光×2)、USB×1、ステレオミニ入力×1、ヘッドホン出力×1(ステレオミニ) 他 ●消費電力:28W ●外形寸法:182W×53H×191Dmm ●質量:1.2kg [スピーカー部] ●形式:2ウェイ・バスレフ型 ●ユニット:70mmウーファー/20mmツイーター ●外形寸法:116W×182H×167Dmm ●質量:1.7kg(1本)

コンパクトでも迫力のあるサウンド

デスクトップに置きやすいコンパクトサイズで、USB-DACとスピーカーをセットにしたティアックのデスクトップシステム。ハイレゾ再生は192kHz/24bit(PCM)に対応する。またCD品質の音源もハイレゾのクオリティまでアップサンプリングする機能も持ち合わせている。アンプ部は、コンパクトサイズながら高い出力を実現させた高効率のデジタルアンプを採用しており、ボディサイズを意識させない迫力のあるサウンドを楽しめる。コンポ部だけでなく、スピーカーサイズもコンパクトだからシステム全体でも省スペースだ。Bluetoothの高音質コーデックのひとつ「aptX」への対応も果たしている。

FOSTEX HP-A4BL

¥48,000(税抜) Hi-Res Audio 投票 No.066

SPEC ●対応サンプリング周波数/量子化bit数:192kHz/24bit(PCM)、11.2MHz/1bit(DSD) ●端子:デジタル音声入力(光×1)、USB×1、アナログ音声出力×1、ヘッドホン出力(バランス×1、アンバランス×1) 他 ●消費電力:4.2W ●外形寸法:150W×34H×157Dmm ●質量:約630g



FOSTEX PM0.4c

¥23,000(税抜) 投票 No.067

SPEC ●形式:2ウェイ・バスレフ型 ●ユニット:100mmウーファー/19mmツイーター ●周波数帯域:60~20,000Hz ●外形寸法:130W×220H×169Dmm ●質量:2.4kg(R側)/2.1kg(L側)



再生できるハイレゾ音源が豊富

フォステクスの小型USB-DAC「HP-A4BL」とアンプを内蔵したアクティブスピーカー「PM0.4c」は、スペースに限りがあるデスクトップ環境でも設置しやすいサイズ感を実現したシステム。USB-DACは192kHz/24bit(PCM)と11.2MHz/1bit(DSD)といった、再生できるハイレゾフォーマットが豊富な点が魅力。ヘッドホンアンプ部はバランス接続(XLR/4極)に対応するなど強化が図られている。アクティブスピーカーは、高性能デジタルアンプをスピーカーに内蔵しており、音場が豊かで重低音の強いサウンドが特長。またシルク振動板を採用したことで、クリアさもある音の傾向も実現したモデルだ。

PC&スマホにピッタリ! 厳選アクセサリ PICK UP

デスクトップでのオーディオや
スマホとの組み合わせに
最適なアクセサリアイテムを
編集部が厳選。一挙にご紹介!

編集部
オススメ!

文/編集部

ELECOM LBT-AVWAR500

for スマホ

¥OPEN ▶投票 No.068

自宅のコンポをBluetooth対応に

Bluetoothに対応していないコンポでも、本機を接続するだけで、たちまちBluetooth対応モデルへと変えてくれるBluetoothオーディオレシーバー。スマホやタブレットと手軽にワンタッチ接続できる「NFC」やAAC/SBCのBluetoothコーデックに対応するなど、機能性が高いモデル。鏡面仕上げの外観で、デザイン性の美しさも実現している。



SPEC ●対応コーデック: AAC/SBC ●外形寸法: 60W×16.5H×60Dmm ●質量: 約32g ●お問い合わせ: エレコム ☎0570-022-022

BUFFALO LS410DC series

for スマホ/PC

1TB→¥26,000(税抜) 2TB→¥29,900(税抜)
3TB→¥38,200(税抜) 4TB→¥46,700(税抜)

▶投票 No.069

高速転送でアクセスも軽快

家族みんなでファイルを共有することができるネットワーク対応HDD(NAS)。スマホやタブレット、PCから同時に利用しても軽快なアクセスを実現する転送速度100MB/sに対応。従来のUSB2.0接続の約1.6倍の高速転送が可能なため、ハイレゾ音源などの大容量な音楽ファイルでも快適にデータを扱える。最大4TBのモデルまでラインアップする。



SPEC ●メディア容量: 1TB/2TB/3TB/4TB ●外形寸法: 45W×127.5H×205Dmm ●質量: 約1.3kg ●お問い合わせ: パッパロー ☎0570-086-086

I・O DATA CDレコ Wi-Fi (CDRI-W24AI)

for スマホ

¥OPEN ▶投票 No.070

音楽CDをスマホに直接取り込める

PCを使わずに、音楽CDの楽曲をスマホやタブレットに取り込めるドライブ。iOS/Androidのスマホなどで活用できる。接続も簡単で、「CDレコ」とモバイル端末を直接USBで接続するだけで、楽曲の取り込みが可能だ。取りこめる音楽データのフォーマットも選べ、ロスレス圧縮(FLAC)から長時間用の96kbps(AAC)など全5種類から選べるのも特長だ。



SPEC ●対応メディア: 音楽用CD-R/RW ●外形寸法: 約137W×22H×152Dmm ●質量: 約310g ●お問い合わせ: アイ・オーデータ機器 ☎0120-777-618

BUFFALO WSR-2533DHP series

for スマホ/PC

¥10,500(税抜) ▶投票 No.071

大容量のデータでも安定した通信

次世代のネットワーク高速規格「11ac(5GHz)」に対応することで大容量のデータでも短時間かつ安定した転送を可能にしたWi-Fiルーター。特別な設定なしでWi-Fiの高速化技術「ビームフォーミングEX」を使えるため、iPhone 7でも通信速度が高い状態で接続ができるのも魅力だ。専用アプリを使えば、スマホから簡単にルーターの設定も行える。



SPEC ●IEEE802.11ac/n/a/g/b ●外形寸法: 36.5W×160H×160Dmm ●質量: 約400g ●お問い合わせ: パッパロー ☎0570-086-086

I・O DATA U3-STD series

for PC

¥OPEN ▶投票 No.072

大容量128GBタイプもラインアップ

従来のUSB接続(USB2.0)と比較して10倍以上の高速データ転送を可能にした、USB3.0対応のUSBメモリー。カラーバリエーションが豊富で、ホワイト、ブラック、ピンク、スケルトンブルー、スケルトンプラウムの5色を揃える。また最大で128GBの大容量モデルもラインアップするため、ハイレゾ音源を入れて、ハイコンボで再生するのに最適なモデルだ。



SPEC ●メディア容量: 4/8/16/32/64/128GB ※4/64/128GBはホワイト/ブラック/ピンクのみ ●外形寸法: 約20.9W×68.8H×8.6Dmm ●質量: 約9.8g ●お問い合わせ: アイ・オーデータ機器 ☎0120-777-618

ハイレゾを、
もっと自由に楽しもう。

TOSHIBA
Leading Innovation >>>



クラス初*のハイレゾ対応で生まれ変わった、新世代ポータブル・オーディオ。

Aurex

* 2016年3月「CDラジオ」カテゴリにおいて



TY-AH1000

新しいモノ。
新しいこと。
by "lifenology"

東芝エリートレーディング株式会社



表示を正しく
家電取組委員会

ONKYO®

拡張性

本質 INTEC

ロングライフ設計



ハイレゾオーディオの普及によってCD以上の音質が手軽に楽しめるようになり、
またストリーミングオーディオという新たなリスニングスタイルも始まっています。

オンキヨーはこれまでも、このような変化の節目にINTECを世に送り出してきました。

デジタルが追い求めるアナログのぬくもりを様々な音源で再現するため、
それを誰もが普段から気軽に楽しめるよう、70年間の成果を余すところなく注ぎ込みました。

心を揺さぶる感動をお届けするために。

All New INTEC

プレミアムな音楽が普段の生活に溶け込んでゆく。再び、音楽の愉しさに心をゆだねてください。



ネットワークレシーバー R-N855 (S) ¥88,000(税別)
リモコン(RC-952S)、FM室内アンテナ、電源コード付属
●JAN: 4573211151756



CDプレーヤー C-755 (S) ¥47,000(税別)
リモコン(RC-822S)、デジタルケーブル、R1ケーブル、電源コード付属
●JAN: 4573211151664



2ウェイ・スピーカーシステム D-212EXT (D) ¥71,000(税別)/2台1組
グリルネット、スピーカーケーブル(モンスターケーブルXP1.8m)×2、
コルクスパーサー×8付属 ■2台1梱包
●JAN: 4573211152159



ONKYO。販売元：オンキヨー&パイオニア マーケティングジャパン株式会社 〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目3番12号

オンキヨーオーディオコールセンター TEL.050-3161-9555 (平日10:00~18:00 土日祝日会社休日を除きます)http://www.jp.onkyo.com/ 公式ショッピングサイト http://onkyodirect.jp/

音楽好きはもうはじめている、アナログのある暮らし

特別編集
フリーマガジン
¥0 TAKE
FREE

Analog Record Style

[アナログレコードスタイル]



今日からできる!

レコード大入門

Vol. 01



Cover Story

音楽との付き合い方は、もちろん多様でいいと思う。

ストリーミングサービスを楽しんだり、ライブハウスで生演奏に触れたり、カフェでBGMに耳を傾けたり。

では、復活しつつあるとよく聞くレコードは、こんな時代にあって、どんな価値があるのだろう。

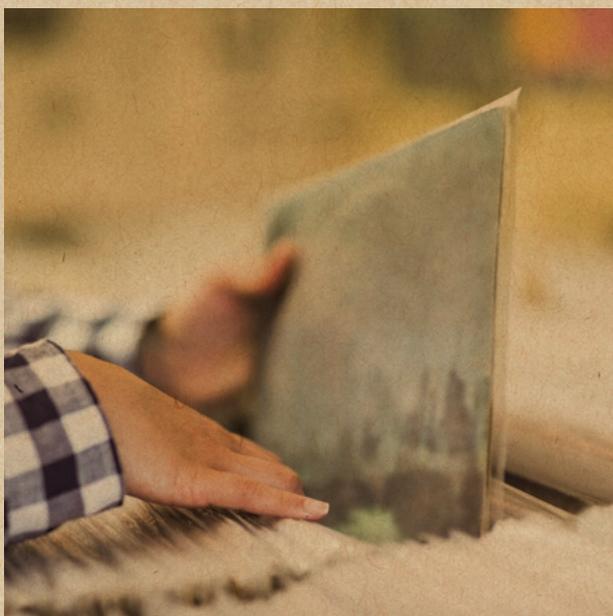
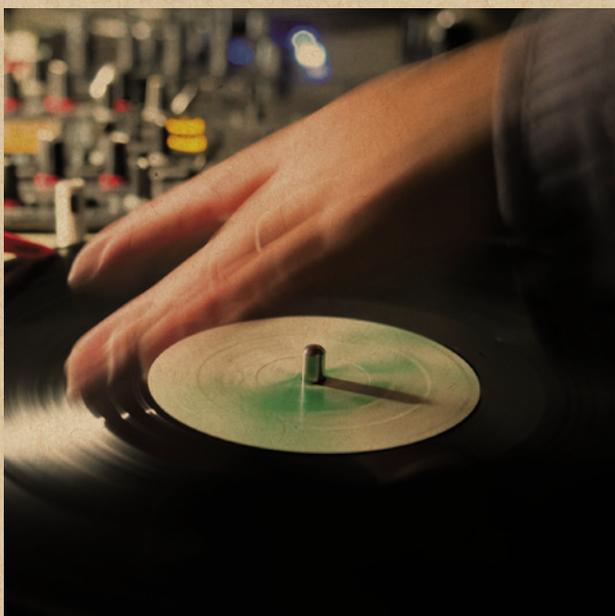
その答えのひとつは「ものを所有する喜び」と深く結びついている。

さらにA面が終われば、プレーヤーに近寄って裏替えし、再び針を落とす…。

利便性を追求した現代の音楽ライフにはない時間や行為も特別なものだ。

人気アーティストも、続々とアナログをリリース。良質なプレーヤーのコスパも急上昇中だ。

そんな新しいアナログレコードスタイルの領域にわけ入ってゆこう。



index

- 004 基礎「ターンテーブルを知ろう」
- 006 注目ターンテーブル Pick Up
- 008 Rega Planar 1「英国伝統ブランドの衝撃」
- 010 厳選アクセサリ Pick Up
- 012 サイプレス上野とロベルト吉野が語るPioneer DJ
- 014 Pioneer DJ PLX-1000「才貌両全のターンテーブル」

「ターンテーブル」を知ろう!

レコードの再生方法がわからない! そんな人のためのターンテーブル入門。
実は針ひとつ交換するだけでレコードの音質は変わってくるほどに奥深いのだ。
ここでは、ターンテーブルの各種パーツの役割や特長を解説しよう!

文/編集部 図版/コスモグラフィック

ターンテーブル

□ 回転スピード切り替え

レコードにも何種類もあり、その大きさによって推奨の回転数が決まっている。主に使うのは、LP盤を再生する33・1/3回転と、EP盤を再生する45回転だ。

□ プラッター

レコードを載せる盤面を「プラッター」という。その盤を回転させる方式にも種類があり、モーター駆動と直結している「ダイレクトドライブ」や、ベルトを介して回転させる「ベルトドライブ」がある。

□ リフター

レコード盤の上に針を移動させるために、トーンアームを浮かせる機構。針を落とす時も、このリフターを使う。

□ トーンアーム

右ページへ!

□ ヘッドシェル/カートリッジ

右ページへ!

ピッチアジャスト

ターンテーブルの回転速度を調整できる機構が「ピッチアジャスト」だ。回転ムラが起きずにピッチを調節できる。

得意分野が異なる2種類の回転方法

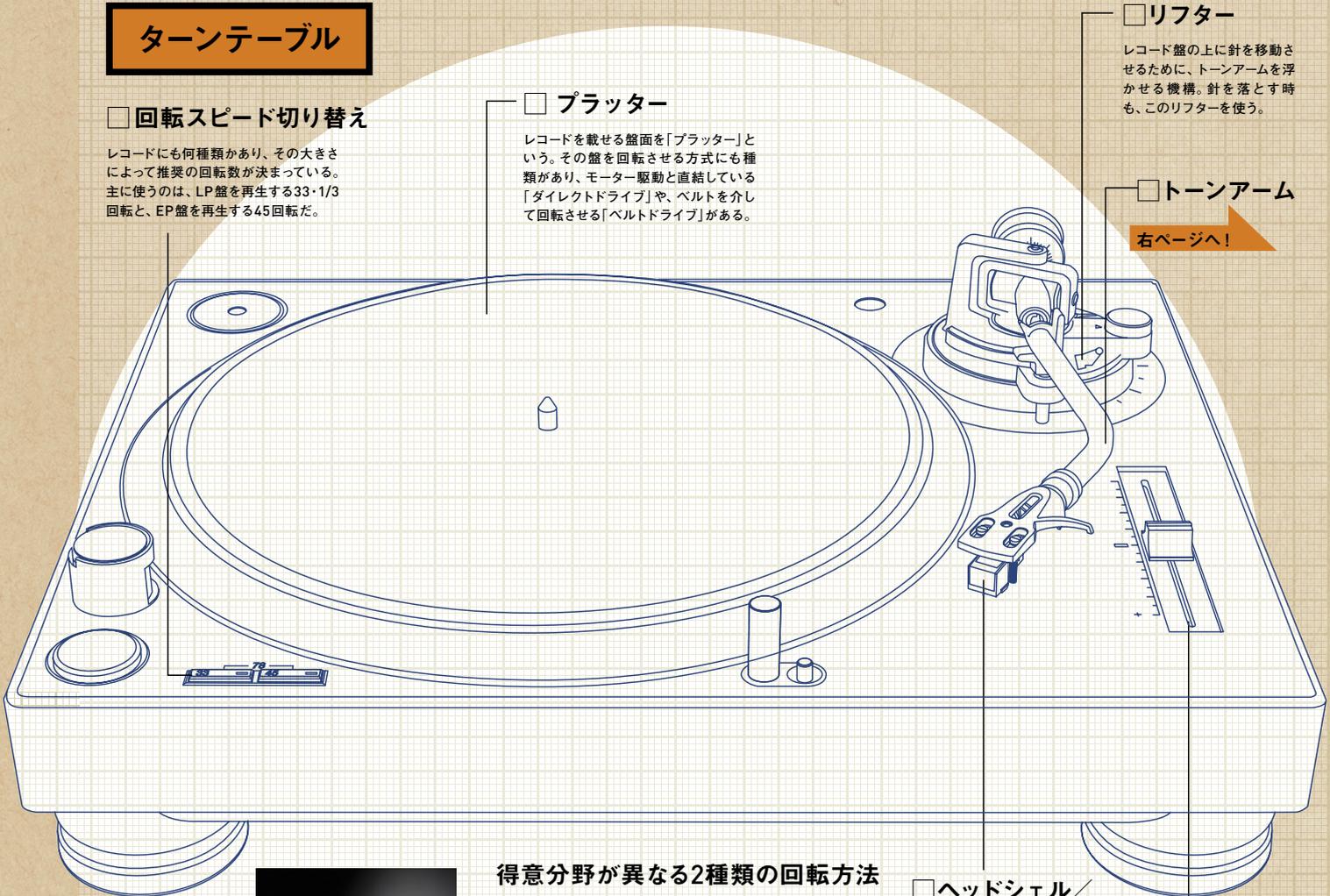
ターンテーブルを語る上で欠かせないのが、プラッターの駆動方式だ。大きくわけて2つあり、1つはプラッターの軸をモーターの回転軸と固定させた「ダイレクトドライブ方式」だ。プラッターをより正確に回転させられるのがメリットで、スクラッチするならこちら。もう1つがベルトを使って軸を回転させる「ベルトドライブ方式」だ。ダイレクトドライブと比較して、モーターの騒音を受けにくいメリットがあるが、正確な回転には高い技術力が必要だ。



ダイレクトドライブ



ベルトドライブ



ヘッドシェル／カートリッジ

レコード針

レコードの溝から音を拾う針先と、その振動を伝える「カンチレバー」、「ダンパー」で構成される。針の金属素材や、ダンパーの機構などで音質が変わる。

カンチレバー

ダンパー

カートリッジ

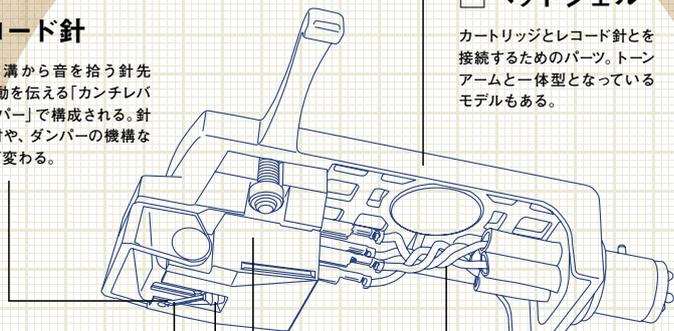
レコード針で受け取った音の振動を電気信号に変換するパーツ。レコード再生で重要な部分で、扱いやすく普及機に多いMM型と、ハイエンドモデルなどに採用例が多いMC型などの種類がある。

ヘッドシェル

カートリッジとレコード針とを接続するためのパーツ。トーンアームと一体型となっているモデルもある。

リード線

カートリッジとヘッドシェルとをつなぐ結線のこと。白、赤、青、緑の4色で線がわかれている。



「カートリッジ」は音質を決めるカギ

ターンテーブルの音質は様々なパーツが影響するが、一番影響を受けるのが「カートリッジ」だ。これはレコードの音溝から拾った振動を電気信号に変換するパーツで、この発電方法の違いで音質差が生じる。その一方で、モデルによってレコードにかけられる圧力（針圧）の大きさが異なるので注意が必要だ。リスニング用は比較的細くて繊細なため、スクラッチなどすると針が曲がりたり折れたりしてしまう。逆にDJ用を謳うカートリッジは針圧が高く頑丈だ。



オーディオ用カートリッジ



DJ用ヘッドシェル／カートリッジ

正しい「トレース」に必要なアーム精度

「トーンアーム」は、カートリッジのバランスを保ち、適切な針圧でレコードの音溝から音を「トレース」ようにする装置のこと。長さや形状によって特徴が異なるが、一般的なものアームの端に重りをつけることで、水平・垂直のバランスをとる。また、アームの精度で音も変わるが、形状にも注目してほしい。ヘッドシェルの取り外しができるモデルが多い「S字型」や、逆にシェルとアームが一体化されていることが多い「ストレート型」などがある。



ストレート型タイプ



S字型タイプ

アーム

アームベース

トーンアームをアナログレコードプレーヤー本体に取り付ける機構。

バランスウェイト

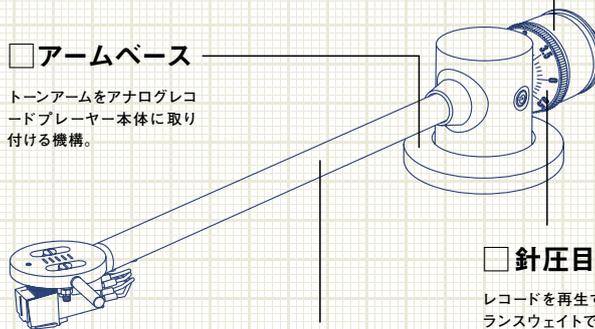
レコード針が音溝に一定の圧力（針圧）をかけるために、アームの端に取り付ける重りのこと。

針圧目盛

レコードを再生する場合、バランスウェイトで針圧を調整するが、その基準となる目盛。

トーンアーム

針先をレコード盤の正しい位置にセットし、正しい針圧が掛かるようにバランスを取る役割を持つ。アームの素材や形状、長さなど構造により様々な種類がある。



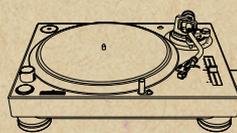
Column

レコードを再生するのに必要な機器とは？

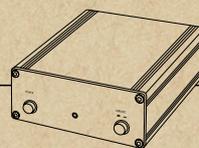
「フォノイコ」の有無に注目！

レコードに溝を彫る場合、高音と低音とで溝の幅は異なる。何もしたくないまま溝を彫ると、一定のピッチにならずに記録が安定しない。そこで通常、低音を小さく高音を大きく変化させた状態で記録するのだ。私たちがレコード聴く時はこの変化を元の状態に戻すために「フォノイコライザー」という装置を使う必要がある。ターンテーブルによっては内蔵されるケースもあるが、別体の場合はフォノイコ選びで音の違いが楽しめる。

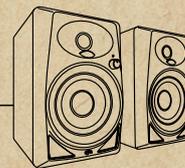
●一般的な接続例



ターンテーブル



フォノイコライザー



アクティブスピーカー

注目

TURN TABLE PICK UP

ターンテーブル

入門者にお薦めしたいエントリーモデルから、
ステップアップに最適なミドル&ハイグレードまで
使いやすい人気モデルを中心に注目モデルをピックアップ!

文/編集部

Amadana Music SIBRECO

¥15,000 (税抜)

投票No.100

SPEC ●外形寸法:410W×117H×
325Dmm ●質量:約3.25kg



インテリアと親和性が高い

amadanaとユニバーサル ミュージック合同会社の共同企画で誕生した「Amadana Music」。より手軽にレコードを楽しめるように、脚柱部分に40mmのフルレンジスピーカーを内蔵。インターフェイスもデザインもシンプルで、モダンリビングに合う佇まいを持っている。

問 amadana ☎03-6861-8657

AUDIO-TECHNICA AT-LP5

¥OPEN (2016年11月18日発売)

投票No.101

SPEC ●外形寸法:450W×157H×
352Dmm ●質量:8.5kg



オーテック7年ぶりの新作

ヘッドホンブランドとしても名を馳せるオーディオテクニカが放つ7年ぶりの新製品。シンプルなデザインの中に、独自設計の「VMカートリッジ AT95EX」や、J字型トーンアームなど、音質にこだわった技術が盛り込まれている。フォノイコライザー内蔵、USB出力も可能だ。

問 オーディオテクニカ ☎0120-773-417

Denon DP-300F

¥43,000 (税抜)

投票No.102

SPEC ●外形寸法:434W×122H×
381Dmm ●質量:5.5kg



本格フルオートプレーヤー

質実剛健のオーディオブランド「デノン」。本機は光沢塗装で仕上げられた厚肉成形材によるキャビネットが美しいフルオートモデル。30cm、17cmのレコードサイズを選べば、アームが自動で動き、再生や停止を行ってくれる。入門者に優しい一台だ。

問 ディーアンドエムホールディングス ☎0570-666-112

ION AUDIO Archive LP

¥7,980 (税抜)

投票No.103

SPEC ●外形寸法:約406W×
88H×360Dmm ●質量:約2.7kg



人気のオールインワン

実売1万円を切る価格でスピーカーも内蔵するオールインワン・ターンテーブル。天然木を採用した筐体は落ち着いたトーンで、部屋のインテリアとしても最適。デジタルファイルの抽出でき、スマホに保存したり、ハイコンボとはRCA出力で接続できたりと入門者に最適。

問 インミュージック ジャパン ☎0466-86-9505

Onkyo CP-1050

¥OPEN

投票No.104

SPEC ●外形寸法:450W×158H×
367.5Dmm ●質量:8.6kg



Hi-Fiクオリティを追求

オーディオ設計の基本に忠実なマニュアルのターンテーブルだ。レコード盤を置くブラッターにはアルミダイキャストを使うなど、盤に不要な振動を与えないことで、高音質再生を狙っている。外観上の特徴になっているMDFボディも全て音質のために採用したものだ。

問 オンキヨー&パイオニアマーケティングジャパン ☎050-3161-9555

Pioneer DJ PLX-500

¥OPEN

投票No.105

SPEC ●外形寸法：450W×159H×
368Dmm ●質量：10.7kg



上位モデルの思想が息づく

60年のレコードプレーヤー開発の歴史と、トップシェアを誇るDJ市場で培った経験とを活かして開発されたターンテーブル「PLX-1000」。その音響設計思想を踏襲する入門モデルだ。ダストカバーにレコードジャケットをディスプレイできるなど、ファッションブルに使える。

問 Pioneer DJ ☎0120-545-676

Pro-Ject Audio Elemental Esprit Phono USB

¥OPEN

投票No.106

SPEC ●外形寸法：465W×90H×350Dmm
(配置の仕方の変動) ●質量：3.5kg



シンプルの中に精密さが潜む

シンプル・イズ・ベストを体現するオーストリアのオーディオブランド「Pro-Ject Audio」。本機もまた必要なものだけに削り落とし、精密に加工されたパーツを組み上げた機能美に溢れる逸品に仕上がっている。機能面でも、USB出力、フォノイコライザーを内蔵する。

問 ナスベック ☎0120-932-455

rega Planar 3

¥100,000 (税抜)

投票No.107

SPEC ●外形寸法：447W×117H×
360Dmm ●質量：6.0kg



Made in England!

レコードブランドとしてファンが多いrega。本国であるイングランドの熟練工が生産しているカスタムメイドのベルトドライブを始め、カスタム仕様のガラスプラッター、新規設計したトーンアームなど正確な再生のために、様々な技術が盛り込まれている。

問 究実電気 ☎050-3388-6838

Sony PS-HX500

¥61,000 (税抜)

投票No.108

SPEC ●外形寸法：430W×104H×
366Dmm ●質量：5.4kg



レコードを「ハイレゾ」で残せる

新規で設計した軽量のシェラー体型ストレートトーンアームなど、ソニーの音響技術が投入されたターンテーブル。一番の特長はアナログレコードを「ハイレゾ」で録音できること。リニアPCM192kHz/24bit、DSDは5.6MHzで録音・保存が可能だ。

問 ソニー ☎0120-777-886

TEAC TN-350

¥OPEN

投票No.109

SPEC ●外形寸法：420W×117H×
356Dmm ●質量：約4.9kg



美しい天然木の光沢仕上げ

設立は1953年という日本の老舗オーディオブランドTEAC。本機は美しい木目の天然木突板に、多層塗りを施した光沢仕上げの高級感のあるボディを採用する。パーツひとつひとつに音質対策が施されている。カラーは写真のナチュラルに加え、チェリーもラインアップする。

問 ティアック ☎0570-000-701

Technics SL-1200G

¥330,000 (税抜)

投票No.110

SPEC ●外形寸法：453W×173H×
372Dmm ●質量：約18.0kg



復活したテクニクスの名機

パナソニックが誇るオーディオブランド「Technics」。その代表モデルといえば「SL-1200」と言う人も多いかもしれない。テクニクスから新たに誕生した本機は、ダイレクトドライブ方式の弱点とも言える回転ムラを排除する新規開発のモーターを採用。10mm厚のアルミパネルと相まってプレミアムな一台に仕上がった。

問 パナソニック ☎0120-878-982

rega



英国伝統ブランドの

アナログレコード関連製品を設立以来、40年に渡り開発し続ける「rega(レガ)」。
「Made in England」にこだわり、微細なパーツまでカスタムメイドする
クラフツマンシップが息づくブランドだ。ここでは入門者に最適な「Planar 1」をご紹介します。

取材・文／中林直樹 写真／田代法生

ターンテーブル

rega Planar 1

¥40,000 (税抜) **投票No.111**SPEC ●駆動方式: ベルトドライブ ●回転数: 33 1/3~45rpm
●外形寸法: 447W×117H×360Dmm (ダストカバー付き) ●質量: 5.5kg

全てが英国生産でありながら驚きの価格

rega (レガ) はイギリス・エセックス州に本拠を置くオーディオの総合ブランドだ。ここで紹介するアナログプレーヤーのほか、アンプやスピーカーなども手がけている。1973年の設立以来、「Made in England」であることと、コストパフォーマンスに優れた製品づくりをコンセプトとしている。

興味深いのは現在のようなCDがメインの音楽ソフトになってもアナログプレーヤーの開発・製造を決して休むことがなかったこと。さらに全ての製品において“ライフタイムワランティー”に対応している。これは製品がたとえ製造中止になったとしても修理を行うというシステムだ。過去のモデル用のパーツのほとんどが本社倉庫に在庫されているのだとか。

そんなレガの中でもカジュアルシリーズとして位置づけられているのがPlanarだ。上位機から「Planar3」、 「Planar2」、そして「Planar1」

というラインアップである。

トーンアームは本機のために新開発されたストレートタイプの「RB110」。この後部にカウンターウェイトを差し込むだけで準備は完了。多くのアナログプレーヤーで必要となるアンチスケーティングの調整などが不要だから、初心者には嬉しい。カートリッジもあらかじめマウントされている。「Carbon」と名付けられたそれはカーボン製カンチレバーを持つMM型。もちろん、これも同社オリジナルモデルで本社工場において熟練の職人たちが組み立てているのだ。

駆動は独自開発のベルトドライブ方式で、上位モデルにも搭載されている振動の少ないAC 24V モーターで駆動する。ボディはブラックとホワイトの2色をラインアップ。いずれも仕上げが美しく、価格以上のプレミアム感を醸し出している。素材はウッドで薄型だが剛性がひじょうに高く、異なる素材で構成される大型のインシュレー

ターと相まって不要な振動も起きにくい。

ブラッターはフェノール樹脂を用い、極めて高い平面性を獲得。外周もつややかで、回転するのを眺めているだけでも惚れ惚れするほどだ。

まず聴いたのはMETAFIVEの『META』。スピーカーから飛び出してきたのはブライトなサウンドだ。ボーカルやエレキギター、シンセサイザーがくっきりとし、輪郭も明瞭。低域は程よい厚みと柔らかさがあり、ここにアナログらしさを感じた。また、決して鈍くならないところにも好感が持てた。

原田知世の『恋愛小説2 若葉のころ』でも透明感のあるボーカルが聴けた。バックのサウンドは中高域が充実し、さらに音が直線的に伝わってきた。アナログらしさと、現代的な表現が融合した特長的なサウンドだ。これでこの価格とは。現在のオーディオシーンにおいて最も戦略的な製品のひとつではないだろうか。

Lineup

カスタム仕様のガラスブラッターがP1よりも高級感を演出する

ターンテーブル

rega Planar 2

¥65,000 (税抜)

投票No.112

SPEC ●駆動方式: ベルトドライブ ●回転数: 33 1/3rpm ●外形寸法: 447W×117H×360Dmm (ダストカバー付き) ●質量: 5.5kg

40年に渡るアーム設計のノウハウと最新のCAD&CAM技術が融合

ターンテーブル

rega Planar 3

¥100,000 (税抜)

投票No.113

SPEC ●駆動方式: ベルトドライブ ●回転数: 33 1/3rpm ●外形寸法: 447W×117H×360Dmm (ダストカバー付き) ●質量: 6.0kg

衝撃

厳選

ACCESSORY PICK UP

アクセサリ

このコーナーでは音質に大きく影響する「カートリッジ」や、「フォノイコライザー」など、アナログレコードをもっと“いい音”で楽しむためのアクセサリをご紹介します。

文／編集部

カートリッジ

Denon DL-103

¥35,000 (税抜)

投票No.115

SPEC ●型式:MC型 ●針圧:2.5±0.3g



放送局グレードで信頼度が高い

放送用として高い性能と高い信頼度を得ることを目標に、NHK総合技術研究所を共同開発したMC型カートリッジ。1970年の発売以来、評論家をはじめ多くのオーディオ愛好家に愛される、デノン伝統の一品。

問 ディーアンドエムホールディングス ☎0570-666-112

カートリッジ

ortofon SPU#1S

¥58,000 (税抜)

投票No.117

SPEC ●型式:MC型 ●針圧:4.0g



60年間作り続ける名機の新作

オルトフォンが「SPU」の初号機を発売したのが、1959年のこと。それから約60年にわたり、作り続ける伝説的名機の最新モデル。「SPU#1S」は丸針を採用したモデルで、精円針を採用した「SPU#1E」もラインアップする。

問 オルトフォンジャパン ☎03-3818-5243

カートリッジ

AUDIO-TECHNICA VM510CB

¥14,500 (税抜)

※2016年12月9日発売予定

投票No.114

SPEC ●型式:VM型 ●針圧:1.8~2.2g
(2.0g標準)



シビアなセッティングは不要

オーディオテクニカが特許を持つ「MM(ムービング・マグネット)型」の一種で、より高音質を狙う「VM型」を採用する入門者向けモデル。針先が丸い「接合丸針」のため、セッティングに左右されにくいのが特長だ。

問 オーディオテクニカ ☎0120-773-417

カートリッジ

GRADO Prestige Black 1

¥9,000 (税抜)

投票No.116

SPEC ●型式:MI型 ●針圧:1.5g



歴史あるカートリッジブランド

GRADO(グラド)は、MC型ステレオカートリッジを発明し、基本特許を持つ歴史あるオーディオメーカー。「Prestige Black 1」は、新規設計のコイルデザインを採用し、動作性能をアップさせた入門モデル。

問 ナイコム ☎03-6417-9744

カートリッジ

ortofon Concorde Scratch

¥OPEN

投票No.118

SPEC ●型式:MM型 ●針圧:4.0g



ターンテーブルリストの定番

スクラッチプレイ時の安定性、低域を強めに出すチューニング、そして視覚性に優れたカラーリングなど、DJプレイに最適化された仕様。ターンテーブルリスト御用達、シェラー体型の定番カートリッジだ。ラインアップに2個セットもある。

問 オルトフォンジャパン ☎03-3818-5243

カートリッジ

PioneerDJ PC-X10

直販サイト価格 ¥17,500 (税抜)

投票No.119

SPEC ●型式:MM型 ●針圧:3.5~5g



解像度重視のDJプレイに

レコード針の製造トップシェア「ナガオカ」と共同開発をおこない、激しいスクラッチプレイでも針飛びがしにくい構造を実現。同社「PLX-1000」との組み合わせに最適化されており、高出力・高解像度なサウンドを実現する。

問 Pioneer DJ ☎0120-545-676

カートリッジ

Shure M44G

¥OPEN

投票No.120

SPEC ●型式:MM型 ●針圧:0.75~1.50g



信頼性抜群のロングセラー

30年以上にわたってベストセラーとなっている、米国シユアのカートリッジ(ヘッドシェルなし)。プロフェッショナルブランドらしく、耐久性の高さや、レコードの磨耗率の少なさに特長があり、だれもが安心して選べるアイテムだ。

問 完美電気 ☎050-3388-6838

アクティブスピーカー

FOSTEX PM0.4n(MB)

¥16,800 (税抜/1台)

投票No.121

SPEC ●入力端子:φ6mmTSフォン・ジヤック、RCA ●外形寸法:144W×220H×180Dmm ●質量:約3.6kg



デスクトップに最適!

前面バッフルを備えた、デスクトップに最適な小型サイズのワードモニター。高性能パワーアンプ(18W×2)搭載。2WAY構成で100mmウーファーと19mmトウィーターそれぞれをバイアンプ方式で駆動する。可変ボリューム付き。

問 フォステクス カンパニー ☎042-545-6111

アクティブスピーカー

PioneerDJ DM-40

直販サイト価格 ¥17,500 (税抜/ペア)

投票No.122

SPEC ●入力端子:RCA、ステレオミニ ●外形寸法:146W×227H×210(突起部含む223)Dmm ●質量:2.7kg(Lch)、2.2kg(Rch)



規格外のコスパを誇る

価格とサイズから想像できない高音質。アンプ出力は21W/ch。レスポンスのよいクリアな低域を実現すべくフロントバスレフ方式とGroove技術を搭載。トウィーターにディフューザーを設け、広いスイートスポットも狙う。

問 Pioneer DJ ☎0120-545-676

フォノイコライザー

CarotOne AUGUSTOLO

¥OPEN

投票No.123

SPEC ●入力インピーダンス:MM/47kΩ、MC/10kΩ ●外形寸法:67W×H28×100D(突起部含む125)mm



洒脱な本格派フォノイコ

オレンジ色が映える、イタリア生まれの小型でスタイリッシュなオーディオ「キャロットワン」。こちらはMM/MC対応のフォノイコライザー。外部ノイズを効果的にシールドする構造をとるなど、その設計は驚くほどに本格派。

問 ユキム ☎03-5743-6202

フォノイコライザー

rega FONO mini

¥16,000 (税抜)

投票No.124

SPEC ●入力インピーダンス:MM/47kΩ ●外形寸法:102W×30H×125Dmm



デジタル出力にも対応

高品位なアナログ関連製品に定評がある、英国rega社のMM対応の小型フォノイコライザー。重量感のあるアルミボディを纏い、前面にUSB端子を装備し、デジタル出力にも対応できる。使い勝手と高性能を兼ね備えた入門機だ。

問 完美電気 ☎050-3388-6838

アーティストの真意を

世界中のクラブを沸かせるDJブランド「Pioneer DJ」。

アーティストからPioneer DJが支持される理由やターンテーブルの魅力を、
ヒップホップアーティストのサイプレス上野さんとロベルト吉野さんが語る！

構成 / 編集部 写真 / 井上良一 スタyling / 撮影協力 / GR8

interview

サイプレス上野と
ロベルト吉野

Profile

マイクロフォン担当:サイプレス上野(左)、ターンテーブル担当:ロベルト吉野(右)。通称「サ上とロ吉」。2000年にあらゆる意味で横浜のハズレ地区である「横浜ドリームランド」出身の先輩と後輩で結成。「HIP HOPミーツallグッド何か」を座右の銘に掲げ、「決してHIPHOPを薄めないエンターテインメント」と称されるライブパフォーマンスを武器に毎年多くのライブを行っている。

ターンテーブル

Pioneer DJ
PLX-500

引き出すPioneer DJ



「Pioneer DJの機材はどこクラブに行っても置いてある僕たちの基準となっているブランドです」と語り、さりげなくPLX-500のダストカバーにジャケットを置いてポーズするお二人！

クラブのどこにでもあり、DJプレイの基準となる

—— Pioneer DJのイメージとは？

ロベルト吉野さん(以下、ロ吉)「最初にプレイしたのはCDJで、当時は機材を持っていなかったの、ライブで使い方を覚えましたね。DJミキサーやターテーブルも使いやすく、Pioneer DJのおかげでプレイの視野が広がりましたよ。

サイプレス上野さん(以下、サ上)「自分もCDJが出たときに『すげえのが出た』と思って、『CDJ-800』を実際には買いましたね。それから、気付いたらどここのクラブに行ってもPioneer

DJの機材があるようになって、逆にアーティストから『Pioneer DJの機材がないクラブではプレイできない』という声もあります。自分たちの中に浸透しているブランドです」。

——「PLX-1000」と「PLX-500」の魅力を教えてください。

サ上 「1000はプロ用途で使える強度を持っていて、置いておくだけでもカッコいい。実際にターンテーブルらしいデザインを持っていて、音と使い勝手は進化していますね。500は自宅のリビングで使っています。トルクは1000ほど強

くはないので、スクラッチ用よりもリスニング用として使っています。仕事として使うというより、リラックスして音楽を聴く時に使っています。買ったレコードを最初に聴くのが、この500ですね」。

ロ吉 「最近PCも導入していますが、常にアナログレコードはDJ/LIVEでも使用しています。やはりレコードでしか出せない何かがあるので大切です。でも針飛びの危険性もあるので、1000のように振動対策されたターンテーブルだと使いやすいですね」。

——読者にメッセージをお願いします。

サ上 「レコードは針を落とす行為が気持ちいいです。自分は500とアクティブスピーカーのDM-40を組み合わせています。このサイズでリビングを十分に再生できます。普段、音楽を聴く時にも使っていて欲しいですね」

——本日はありがとうございました！



Special Thanks

GR8

東京都渋谷区神宮前1-11-6
ラフォーレ原宿2.5F
<http://www.gr8.jp/>
☎03-3408-6908



DJも!
リスニングも!

才貌両全のターンテーブル

Product Review



ターンテーブル

Pioneer DJ PLX-1000

¥OPEN

投票No.125

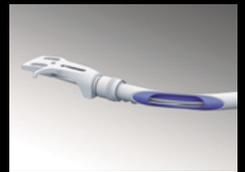
SPEC ●駆動方式:クォーツサーボ式ダイレクトドライブ ●回転数:33 1/3~45、78rpm ●出力端子:PHONO/LINE音声(RCA)×1、USB-B×1 ●外形寸法:450W×159H×368Dmm ●質量:10.7kg



Technology

余すことなく情報を拾い上げる

S字型のトーンアームの内部にはゴムチューブを内蔵。これでハウリングの発生を抑制している。また、世界的なレコード針メーカー株式会社ナガオカとDJ用途として共同開発したカートリッジ「PC-X10」も用意。ディスクに刻まれた情報を余すことなく拾い上げ、ふくよかかつ骨太なサウンドを聴かせた。



音響技術のノウハウが結集

ボディの上部には亜鉛ダイキャストを、下部には樹脂を、さらに底面には振動抑制材を用いることで、再生時に発生しがちな振動を低減。インシュレーターも頑丈だ。シンプルなデザインだが、こうしたオーディオ的ノウハウがぎっしりと詰まっているのだ。



ーブル

安定した回転は高音質 再生につながる!

Pioneer DJは、DJ機器の世界的トップメーカーとして長年培ってきたノウハウと高音質技術を活かして数多くの製品を誕生させてきた。パイオニアのレコードプレーヤーの歴史を紐解けば60年前に遡り、多くのオーディオファン親しまれてきたのだ。この「PLX-1000」は、そうしたパイオニアHi-Fiレコードプレーヤーの代名詞である「PL」型番を、1984年発売の「PL-7L」以来、30年ぶりに冠したターンテーブルである。確かにDJやクラブ市場向けに開発された製品ではあるが、これをDJ用途だけに限定してしまうのはもったいない。今回の試聴を通してそれを実感した。

その理由のひとつは強力なモーターを搭載し、プッターをダイレクトに動かすため、回転の立ち上がりが非常にスムーズで、ストレスを感じさせないからだ。レコードをターンテーブルに置いてスタートボタンをプッシュすれば、素早く動き始め、針をおろせばすぐに音楽が最適なスピードで聴こえてくる。さらに音がふらつかず、安定して回転している。

肝心のサウンドは、たとえばボーカルは暖かみがあり、コーラスとも調和する。ドラムスはパワフル。ただし、音の輪郭は丸みがあり、耳への刺激は少ない。エレキギターの高域も同様で、これぞまさにアナログの音。CDやハイレゾとは異なるまろやかな音色で、誰もがその魅力を感じることができるだろう。また、ジャズではウッドベースの深みは厚みを存分に感じさせてくれた。それは針がしっかりと盤の溝をトレースしている証だ。

さらにPLX-1000の設計思想を継承したカジュアルモデル「PLX-500」も登場した。カラーはブラックのほか、ホワイトも用意されている。いずれのボディも上品な光沢があり、インテリアともマッチさせやすい。また、オプションで高品位カートリッジ「PC-X10」も用意されるので、ステップアップに最適だ。もちろん、両機ともカートリッジの交換が可能だから、アナログならではのクオリティアップの余地も無限大だ。

DJモデルとして不動の位置を獲得するPioneer DJのターンテーブル。

ただその用途はDJだけに止まらない。ホームリスニングにも最適だ。

語られることの少ない音響技術についてオーディオライターの中林直樹氏が解説する。

写真/田代法生



TEXT by 中林直樹

文筆業。根が音楽好きにできている上に、過去にオーディオ&ビジュアル専門出版社で編集者として勤務した経験あり。ゆえに、ソフトとハード、双方を視点とした評論活動が信条。

ターンテーブル

Pioneer DJ PLX-500

¥OPEN

投票No.126



SPEC ●駆動方式:クォーツサーボ式ダイレクトドライブ ●回転数:33 1/3 ~45、78rpm ●出力端子:PHONO/LINE音声(RCA)×1、USB-B×1 ●外形寸法:450W×159H×368Dmm ●質量:10.7kg



デジタル化できる

「PLX-1000」とは、内部構造やカートリッジなどが異なるが、面白いのはUSBポートが用意され、アナログサウンドをデジタル化できること。それは開発コンセプトでもあった。データをPCに取り込めば、スマートフォンなどでもレコードの楽曲を楽しむことができる。なお、PCへの取り込みや編集などはフリーウェアのアプリケーション「rekordbox」で簡単に行うことが可能だ。

サウンドはPLX-1000よりも低域が控えめで、その分、クリアでシャープな印象。ジャズのトランペットやサクスは伸びやかでリアリティも高い。ボーカルもくっきりと歯キレがよく聴き取りやすいのも特長だ。



PCで音楽管理できる 「rekordbox」

PLX-500の背面に搭載するUSB-B端子とPC/Macを直接接続することで、アナログ音源であるレコードの音を、デジタルデータに変換して録音できる。録音する場合は、無償のアプリケーション「rekordbox」を使うことで簡単に行える。手持ちのレコードコレクションをデジタルで保存するのに役立つし、スマートフォンなどで気軽に持ち出す用途にも活用できる。



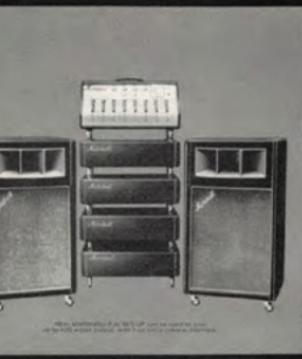
**PREMIUM
COMPACT AUDIO
GUIDE** 特別編集フリーマガジン



最新アナログレコード情報も掲載
オーディオ・ビジュアル/ガジェットのポータルサイト
「ファイルウェブ」毎日更新中
<http://www.phileweb.com/>

企画・編集/株式会社音元出版 SP DIVISION ☎03-3255-4471
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-9 第七東ビル8階
デザイン/赤石澤宏隆(STAND) 製版/コスモグラフィック
表紙撮影/井上良一 印刷/大日本印刷





Hear no evil

The Tremeloes and Eyes of Blind. And almost everyone else in the charts. When the Air Force breaks the sound barrier, we were there. We'll be glad to help you. Fill in the coupon and we'll send you the Marshall brochure. If your group already uses Marshall equipment, send us details and pictures for inclusion in our new world coverage Marshall magazine - The Marshall World.

To: **Home - Morris & Co. Ltd.** (Dept. A)
1214 Gordon House, Street, London, N.C. W.3.
Please rush your Marshall brochure.

Name: _____
Address: _____
City: _____
Country: _____

Home - Morris
Marshall
Tell it like it is



...the Mustangs, the Bee Gees, the...
...When the organ, the Faces...
...shop and had our choice Marshall...
...ought to get involved on. But don't...
...a short stop for one year before he...
...it'll always hear the fan...
...the music about Marshall, send us a...
...a love a brochure...
...U.K. 1214 Gordon House, Street,
...N.W.3.

'Beat instrumental



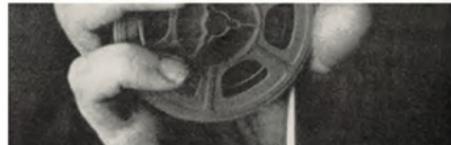
The sound of success-

JIMI HENDRIX EXPERIENCE
THE TREMELOES - PROCOL HARUM
THE CREAM - THE BEE GEES
THE SMALL FACES - ROY ORBISON
JIMMY JAMES & THE VAGABONDS
SPENCER DAVIS

Marshall's solid sound is behind all these great groups. Marshall's most powerful, distortion-free amplification equipment. Put Marshall behind you! Select your own particular set-up over those others offering noise - 18 watts to 100 watts.

Read all about it! Write your name and address on a postcard and send it to us. In return we'll send you all you want to know.

MARSHALL
Old and New Marshall Amplifiers and Co. Ltd., 1214 Gordon House Street, London, N.W.3.



A lot of things come when you're trying to hit the big time in the pop business...
...But the main requirement of all is some sound. Not just volume, but quality. And that's where your amplification equipment comes in. If it's not doing your job, you'll never get the sound hearing from the right people...
...We know this, so we produce high quality amplifiers to give your musical talents every chance...
...Marshall amplifiers are big on volume, big on tone. Big on quality - sound reproduction. That's why the top names in the business use our gear.



Food for thought

Vanilla Fudge
Grapefruit
The Toast

In case these names have escaped you we'll tell you they're where you should be. At the top. You might say you're as good and deserve to be there too. However you're not. If you are as good, the fault isn't yours. It's your equipment. The groups (like The Jimi Hendrix Experience, The Who, Jethro Tull and Bob Dylan) all use Marshall amplifiers. Simply because Marshall is the best. It gives your sound what it deserves - fantastic volume and tone without the distortion.

And our best something we can hear here. There's your thought.

To: **Home - Morris & Co. Ltd.** (Dept. A)
1214 Gordon House, Street, London, N.C. W.3.
Please send me Marshall's new Marshall way.

Name: _____
Address: _____



Marshall HEADPHONES

音楽ファンの心に刻まれた伝説のライブステージ。

その多くを支えてきたのが「Marshall」のプロダクツです。

1960年代に登場したブランド初のギターアンプ「JTM45」は、

当時、どんなアンプよりもディープなサウンドを生み出し、

世界中のギタリスト達を虜にしました。

そうしたブランドが培った豊かな音響技術を活かして誕生したのが、

「Marshall HEADPHONES」のワイヤレススピーカーとヘッドホンです。

ライブサウンドの息づく製品が、

心躍る体験をもたらします。

SPEAKER LINEUP

迫真のサウンドをBluetoothのワイヤレスで——
マーシャル・アンプの姿を色濃く反映するスピーカーは、
ヴィンテージな佇まいの中に卓越した音響技術が凝縮します。



WOBURN



ACTON



KILBURN



STOCKWELL

ロックの精神を持ち運ぶ



242W×140H×140Dmm

KILBURN

Speaker 01

[キルバーン]

¥OPEN ポータブルワイヤレススピーカー

SPEC ●型式：アクティブスピーカー（バスレフ型）●Bluetooth仕様：Ver.4.0 + EDR ●ユニット：3/4インチ磁性流体冷却式ドームツイーター×2、4インチウーファー×1 ●アンプ出力：5W×2、15W×1（CLASS Dアンプ） ●再生周波数帯域：62～20,000Hz ●連続再生時間：最大20時間（バッテリー内蔵） ●入力端子：3.5mmステレオミニ×1 ●外形寸法：242W×140H×140Dmm ●質量：3.00kg

RECOMMEND

ギターのリフが弾けるサウンド。

再生20時間のタフネスバッテリー。

クールなレザーストラップを付属。



BLACK
(JAN: 4954591508185)

CREAM
(JAN: 4954591508192)

SOUND QUALITY



小型サイズで深い重低音



 Bluetooth®

265W×160H×150Dmm



BLACK
(JAN:4954591508024)

CREAM
(JAN:4954591508031)

ACTON

Speaker 02

[アクトン]

¥OPEN ワイヤレススピーカー

SPEC ●型式: アクティブスピーカー(バスレフ型) ●Bluetooth仕様: Ver.4.0 + EDR ●ユニット: 3/4インチ磁性流体冷却式ドームツイーター×2、4インチウーファー×1 ●アンプ出力: 8W×2、25W×1(CLASS Dアンプ) ●再生周波数帯域: 50~20,000Hz ●入力端子: 3.5mmステレオミニ×1 ●外形寸法: 265W×160H×150Dmm ●質量: 3.00kg

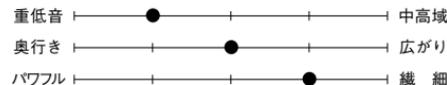
RECOMMEND

ライブハウスのベース音を再現。

2WAY、バスレフ型の本格構造。

卓上に設置できる小型サイズ。

SOUND QUALITY



WOBURN

[ウーバーン]

¥OPEN ワイヤレススピーカー

SPEC ● 型式: アクティブスピーカー(バスレフ型) ● Bluetooth仕様: Ver.4.0 + EDR (aptX対応) ● ユニット: 1インチ磁性流体冷却式ドームツイーター×2、5 1/4インチウーファー×2 ● アンプ出力: 20W×2、50W×1 (CLASS Dアンプ) ● 再生周波数帯域: 35 ~ 22,000Hz ● 入力端子: 3.5mm ステレオミニ×1、RCA×1、光デジタル×1 ● 外形寸法: 400W×308H×200Dmm ● 質量: 7.90kg

RECOMMEND

マーシャルサウンドの理想形。

Speaker 03

最上の音質を伝統の姿で



Bluetooth

400W×308H×200Dmm

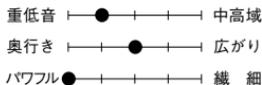


BLACK
(JAN:
4954591508000)



CREAM
(JAN:
4954591508017)

SOUND QUALITY



STOCKWELL

[ストックウェル]

¥OPEN ポータブルワイヤレススピーカー

SPEC ● 型式: アクティブスピーカー(バスレフ型) ● Bluetooth仕様: Ver.4.0 + EDR ● ユニット: 2 1/4インチフルレンジ×2、2 1/4インチウーファー×2、3.5W×1.5Hインチバッシュブラジエーター×2 ● アンプ出力: 10W×2 (CLASS Dアンプ) ● 再生周波数帯域: 50 ~ 20,000Hz ● 連続再生時間: 最大25時間 (NR5音量設定) ● 入力端子: 3.5mm ステレオミニ×1 ● 外形寸法: 260W×140H×41Dmm ● 質量: 1.20kg

RECOMMEND

スマホ充電もできる高い機能性。

Speaker 04

スリムな筐体から力湧く音



Bluetooth

260W×140H×41Dmm



BLACK
(JAN:
4954591508208)

別売のケースはスタンドにもなる



「STOCKWELL CASE」
¥OPEN
(JAN:
4954591508321)

SOUND QUALITY



HEADPHONE LINEUP

ミュージックライフにもっと自分らしさを——
マーシャルの伝統を体現するヘッドホンシリーズは、
ロックの突き抜けるギター、深いビートを楽しめます。



MODE

MODE EQ



MAJOR II

MONITOR

色を個性で選ぶ
定番モデル



MAJOR II

Headphone 01

[メジャー 2]

¥OPEN オンイヤー型ヘッドホン

SPEC ●型式:密閉ダイナミック型 ●ユニット口径:40mm ●
インピーダンス:64Ω ●再生周波数帯域:10~20,000Hz ●
感度:100mV@1kHz=99dB SPL ●プラグ:ダブルリングコイル
付き3.5mm L型ステレオミニプラグ

RECOMMEND

外でもライブサウンドを離さない。

低歪みの40mmドライバー搭載。

折り畳めるので持ち運びも便利。



BLACK
(JAN:4954591508048)



WHITE
(JAN:4954591508062)



BROWN
(JAN:4954591508055)



PITCH BLACK
(JAN:4954591508079)

●リモコン操作



SOUND QUALITY

重低音 ●————— 中高域

奥行き ●————— 広がり

パワフル ●————— 繊細

プロ品質の
堅牢設計と音質



MONITOR

Headphone 02

[モニター]

¥OPEN アラウンドイヤー型ヘッドホン

SPEC ●型式:密閉ダイナミック型 ●ユニット口径:40mm ●インピーダンス:42Ω ●再生周波数帯域:10~20,000Hz ●感度:100mV@1kHz=99dB SPL ●プラグ:ダブルリングコイル付き3.5mmL型ステレオミニプラグ ●付属品:キャリングポーチ

RECOMMEND

追真に迫るスタジオサウンド。

「F.T.F.システム」で高域調整。

堅牢なボディがライブ感を演出。



BLACK (JAN:4954591507942)



● F.T.F. システムとは
ドライバー前にある調整フィルター
「FELT TREBLE FILTER(F.T.F.)」
で高域を調整します。

●リモコン操作



SOUND QUALITY

重低音 ———●————— 中高音
奥行き ———●————— 広がり
パワーフル ———●————— 繊細

MODE EQ

[モード・イーキュー]

¥OPEN カナル型イヤホン

SPEC ●型式:密閉ダイナミック型 ●ユニット口径:9mm ●インピーダンス:30(±3)Ω ●再生周波数帯域:20~20,000Hz ●感度:100mV@1kHz=98dB SPL ●プラグ:ダブルリングコイル付き3.5mm L型ステレオミニプラグ ●付属品:シリコンイヤークリップ(S/M/L/XL)

RECOMMEND

イコライザー機能を追加。

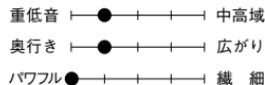
低音をブーストして楽しむ



BLACK & BRASS
(JAN:4954591507997)



SOUND QUALITY



MODE

[モード]

¥OPEN カナル型イヤホン

SPEC ●型式:密閉ダイナミック型 ●ユニット口径:9mm ●インピーダンス:39Ω ●再生周波数帯域:20~20,000Hz ●感度:100mV@1kHz=99dB SPL ●プラグ:3.5mm L型ステレオミニプラグ ●付属品:シリコンイヤークリップ(S/M/L/XL)

RECOMMEND

ライブサウンドを耳元で。

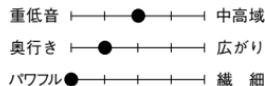
毎日使えるシンプル入門機



BLACK & WHITE
(JAN:4954591507980)



SOUND QUALITY



headphone 03

headphone 04

Marshall
HEADPHONES